

○印: 必修 △印: 選択必修 ※印: 登録必須 無印: 選択

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		DP対応番号
人文	○キリスト教学	○キリスト教学(技術者としての倫理)							1, 6, 7, 12
	文学Ⅰ	文学Ⅱ							1, (6), 7
	哲学Ⅰ	哲学Ⅱ							1, 7
	歴史学Ⅰ 論理学Ⅰ 文化人類学Ⅰ [日本事情(人文)]	歴史学Ⅱ 論理学Ⅱ 文化人類学Ⅱ							1, 6 1, 5, 6
社会	経済学Ⅰ 社会学 法学 憲法 政治学Ⅰ 心理学Ⅰ [日本事情(社会)]	経済学Ⅱ 社会福祉論(法学) (憲法) 政治学Ⅱ 心理学Ⅱ							1, 7 1, 5, 6
	○フレッシュヤーズセミナー 教養セミナー	(○フレッシュヤーズセミナー) (教養セミナー) Japanese Culture and Society (ソーシャルサービス) KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ							7, 9, 12 1, 6, 7, (12) 1, 5, 6 4, 6, 10, 12 1, 7, 10, 11, 12 1, 5, 6
複合(地域)	△KGUかながわ学(行政) △KGUかながわ学(経済) △KGUかながわ学(スポーツ) △KGUかながわ学(自然) △KGUかながわ学(地域安全) △KGUかながわ学(コミュニティ) 地域創生特論1(横浜) 地域創生特論2(川崎) 地域創生特論4(鎌倉) 地域創生特論5(逗子) 地域創生特論8(厚木)	△かながわ学(IT産業) △KGUかながわ学(政治) △KGUかながわ学(歴史・文化) △KGUかながわ学(健康) △KGUかながわ学(地域づくり) 地域創生特論3(横須賀) 地域創生特論6(三浦) 地域創生特論7(葉山) 地域創生特論9(茅ヶ崎) 地域創生特論10(小田原) 地域創生特論11(神奈川)							1, 3, 7
	健康スポーツⅠ	健康スポーツⅡ	健康スポーツⅢ	健康スポーツⅣ	健康スポーツⅤ 武道指導論Ⅰ	健康スポーツⅥ 武道指導論Ⅱ			1, 9, 11
英語	○総合英語(リーディング) ○総合英語(オーラルコミュニケーション) (○総合英語(ライティング)) △英語講読(科学・基礎) △英語講読(科学) △資格英語(TOEIC基礎) △資格英語(工業英検) △アカデミックプレゼンテーションⅠ	○総合英語(リスニング) (○総合英語(オーラルコミュニケーション)) ○総合英語(ライティング) (△英語講読(科学・基礎)) △英語講読(文学) (△資格英語(TOEIC基礎)) (△資格英語(工業英検)) △アカデミックプレゼンテーションⅡ	△英語講読(論文) △資格英語(TOEIC中級) △アカデミックライティングⅠ △オーラルコミュニケーションⅠ	△英語講読(時事英語) (△資格英語(TOEIC中級)) △アカデミックライティングⅡ △資格英語(TOEIC上級) △オーラルコミュニケーションⅡ					1, 5, 6 1, 5, 6, 8
	外国語科目 その他の外国語	△ドイツ語ⅠA(文法) (△ドイツ語ⅠB(文法)) △ドイツ語ⅡA(読解) (△ドイツ語ⅡB(読解)) △フランス語ⅠA △中国語ⅠA (△中国語ⅠB) △スペイン語ⅠA △ロシア語ⅠA 海外語学演習(英語) 海外語学演習(中国語) 海外語学演習(韓国語) 海外語学演習(フランス語) 海外語学演習(ドイツ語)	(△ドイツ語ⅠA(文法)) △ドイツ語ⅠB(文法) (△ドイツ語ⅡA(読解)) △ドイツ語ⅡB(読解) △フランス語ⅠB (△中国語ⅠA) △中国語ⅠB △スペイン語ⅠB △ロシア語ⅠB	ドイツ語ⅢA △フランス語ⅡA △中国語ⅡA (△中国語ⅡB) △スペイン語ⅡA △ロシア語ⅡA	ドイツ語ⅢB △フランス語ⅡB (△中国語ⅡA) △中国語ⅡB △スペイン語ⅡB △ロシア語ⅡB				

各科目の担当セメスターについては授業科目担当表を参照すること。

備考: ディプロマ・ポリシー(DP)については以下に対応する番号とその内容を記す。

知識・理解	1. 理工系社会人として必要とされる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)
技能	2. 各コースの専門分野の知識と方法論を修得している。(専門分野に関する知識・理解)
思考・判断・表現	3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・産業・社会状況等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)
関心・意欲・態度	4. 各コース専門分野の知識・技能を活用して、問題を発見し解決するための手法を適切に選択できる。(問題発見・解決力)
	5. 専門分野において国際社会で協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)
	6. 他者もつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自分の果たすべき役割を判断できる。(多文化での共生)
	7. 論理的な思考と倫理的な認識をもって、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)
	8. 専門分野において自らの意見を適切な表現手段を用いて発信するとともに、他者の意見に耳を傾けることができる。(傾聴と発信)
	9. 社会的役割を果たすことの意義を理解し、そのために進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)
	10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性)
	11. 自らの果たすべき役割に責任をもってあたるとともに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。
	12. 修得した知識・技能をもって社会に貢献しようとする態度を身につけている。(建学の精神の実践、牽引動機)

○印: 必修 △印: 選択必修 ※印: 登録必須 無印: 選択

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		DP対応番号
人文	○キリスト教	○キリスト教 (技術者としての倫理)							1, 6, 7, 12
	文学 I	文学 II							1, (6), 7
	哲学 I	哲学 II							1, 7
	歴史学 I	歴史学 II							1, 11
	論理学 I	論理学 II							1, 7
	文化人類学 I [日本事情 (人文)]	文化人類学 II							1, 6 1, 5, 6
社会	経済学 I	経済学 II							1, 7 1, 5, 6
	社会学 法学 憲法 政治学 I 心理学 I [日本事情 (社会)]	社会福祉論 (法学) (憲法) 政治学 II 心理学 II							
教養科目 複合	○フレッシュャーズセミナ 教養セミナ 総合コース I 総合コース II 総合コース III 総合コース IV	(○フレッシュャーズセミナ) (教養セミナ)							7, 9, 12 1, 6, 7, (12) 1 1, 3, 7 1, 7, 10 1, 7 1, 5, 6 4, 6, 10, 12
	ソーシャルサービス ※KGUキャリアデザイン入門 KGUキャリアデザイン基礎 II KGUキャリアデザイン応用 I [日本事情 (自然)]	Japanese Culture and Society (ソーシャルサービス) KGUキャリアデザイン基礎 I	英語コミュニケーション論	国際コミュニケーション論					1, 7, 10, 11, 12 1, 5, 6
	KGUかながわ学 (行政)	かながわ学 (IT産業)							1, 3, 7
	KGUかながわ学 (経済)	KGUかながわ学 (政治)							
	KGUかながわ学 (スポーツ)	KGUかながわ学 (歴史・文化)							
	KGUかながわ学 (自然)	KGUかながわ学 (健康)							
KGUかながわ学 (地域安全)	KGUかながわ学 (地域づくり)								
KGUかながわ学 (コミュニティ)									
地域創生特論1 (横浜)	地域創生特論3 (横須賀)								
地域創生特論2 (川崎)	地域創生特論6 (三浦)								
地域創生特論4 (鎌倉)	地域創生特論7 (葉山)								
地域創生特論5 (逗子)	地域創生特論9 (茅ヶ崎)								
地域創生特論8 (厚木)	地域創生特論10 (小田原)								
地域創生特論11 (神奈川)									
保健体育科目	健康スポーツ I	健康スポーツ II	健康スポーツ III	健康スポーツ IV	健康スポーツ V 武道指導論 I	健康スポーツ VI 武道指導論 II			1, 9, 11
	英語	英語	英語	英語					1, 5, 6 1, 5, 6, 8
外国語科目 その他の外国語	△ドイツ語 IA (文法) (△ドイツ語 IB (文法)) △ドイツ語 II A (読解) (△ドイツ語 II B (読解)) △フランス語 IA △中国語 IA (△中国語 IB) △スペイン語 IA △ロシア語 IA 海外語学演習 (英語) 海外語学演習 (中国語) 海外語学演習 (韓国語) 海外語学演習 (フランス語) 海外語学演習 (ドイツ語)	(△ドイツ語 IA (文法)) △ドイツ語 IB (文法) (△ドイツ語 II A (読解)) △ドイツ語 II B (読解) △フランス語 IB (△中国語 IA) △中国語 IB △スペイン語 IB △ロシア語 IB	ドイツ語 III A △フランス語 II A △中国語 II A (△中国語 II B) △スペイン語 II A △ロシア語 II A	ドイツ語 III B △フランス語 II B (△中国語 II A) △中国語 II B △スペイン語 II B △ロシア語 II B					1, 5, 6 1, 5, 6, 9, 10

各科目の配当セメスターについては授業科目配当表を参照すること。

備考: ディプロマ・ポリシー (DP) については以下に対応する番号とその内容を記す。

知識・理解	1. 理工系社会人として必要とされる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)
	2. 各コースの専門分野の知識と方法論を修得している。(専門分野に関する知識・理解)
	3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・産業・社会状況等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)
技能	4. 各コース専門分野の知識・技能を活用して、問題を発見し解決するための手法を適切に選択できる。(問題発見・解決力)
	5. 専門分野において国際社会で協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)
思考・判断・表現	6. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自分の果たすべき役割を判断できる。(多文化での共生)
	7. 論理的な思考と倫理的な認識をもって、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)
	8. 専門分野において自らの意見を適切な表現手段を用いて発信するとともに、他者の意見に耳を傾けることができる。(傾聴と発信)
関心・意欲・態度	9. 社会的役割を果たすことの意義を理解し、そのために進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)
	10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性)
	11. 自らの果たすべき役割に責任をもってあたるとともに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。
	12. 修得した知識・技能をもって社会に貢献しようとする態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)

理工学部専門基幹科目／専門基礎科目 教育課程表

2017年度以降入学

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		卒業要件 単位数
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
専門基幹科目 必修／選択必修／選択(※1)	数学	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災以外) 線形数学Ⅰ(2)	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災のみ) 微分積分学Ⅱ(2) 線形数学Ⅱ(2)	数理統計学Ⅰ(2) 複素関数論Ⅰ(2)	数理統計学Ⅱ(2) 複素関数論Ⅱ(2)				
	物理・ 学・生物 学・化学	物理学Ⅰ(2) 物理学Ⅱ(2) 化学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2)	物理学Ⅲ(2) 物理学Ⅳ(2)	栽培Ⅰ(1)	栽培Ⅱ(1)				
	機械	機械工学総論Ⅰ(2)	機械工学総論Ⅱ(2)	木材加工Ⅰ(2) 金属加工Ⅰ(2) 機械実習(1)	木材加工Ⅱ(2) 金属加工Ⅱ(2)				
	電気			電気工学総論Ⅰ(2)	電気工学総論Ⅱ(2) 電気実習(1)				
	情報	情報基礎及び演習Ⅰ(2) 情報概論(2)	情報基礎及び演習Ⅱ(2)	プログラミング基礎(2) Webプログラミング(2)	プログラミング応用(2)				
	環境科目	環境社会論(2)	環境フィールド演習(2)	環境と化学(2) 環境地球科学Ⅰ(2)	環境生態学(2) 環境地球科学Ⅱ(2)	環境マネジメント(2)	環境と法(2)		
	概論科目	理工学概論(2)							
	FP		フレッシュアズプロジェクト(2)						
	インターン					春(5-6セメスター) : KGUインターンシップⅠ(事前指導)(1)	秋(6-7セメスター) : KGUインターンシップⅡ(実習)(1)	春学期(5-8セメスター) : インターンシップA(2)	
	教職	春学期(1-8セメスター) : 職業指導1(2) 秋学期(1-8セメスター) : 職業指導2(2)							
専門基礎科目 必修／登録必修／選択必修／選択(※1)	数学	数学基礎Ⅰ(2) 理工学数学A(2)	数学基礎Ⅱ(2) 理工学数学B(2)						
	物理学・ 化学・ 生物学			物理学総論Ⅰ(2)	物理学総論Ⅱ(2)				
	生物学総論Ⅰ(2)		春学期(1-4セメスター) : 物理学実験Ⅰ(1) 秋学期(1-4セメスター) : 物理学実験Ⅱ(1)	化学Ⅱ(2) 化学実験(2) 生物学Ⅱ(2) 生物学総論Ⅱ(2)	化学総論Ⅰ(2) 生物学実験(2)	化学総論Ⅱ(2)			
	地学	地学総論Ⅰ(2)	地学総論Ⅱ(2)	地学実験(2)					
	実験	工学基礎実験Ⅰ(2)	工学基礎実験Ⅱ(2)						
	情報		情報と職業(2)		Visual Basicプログラミング(2)				

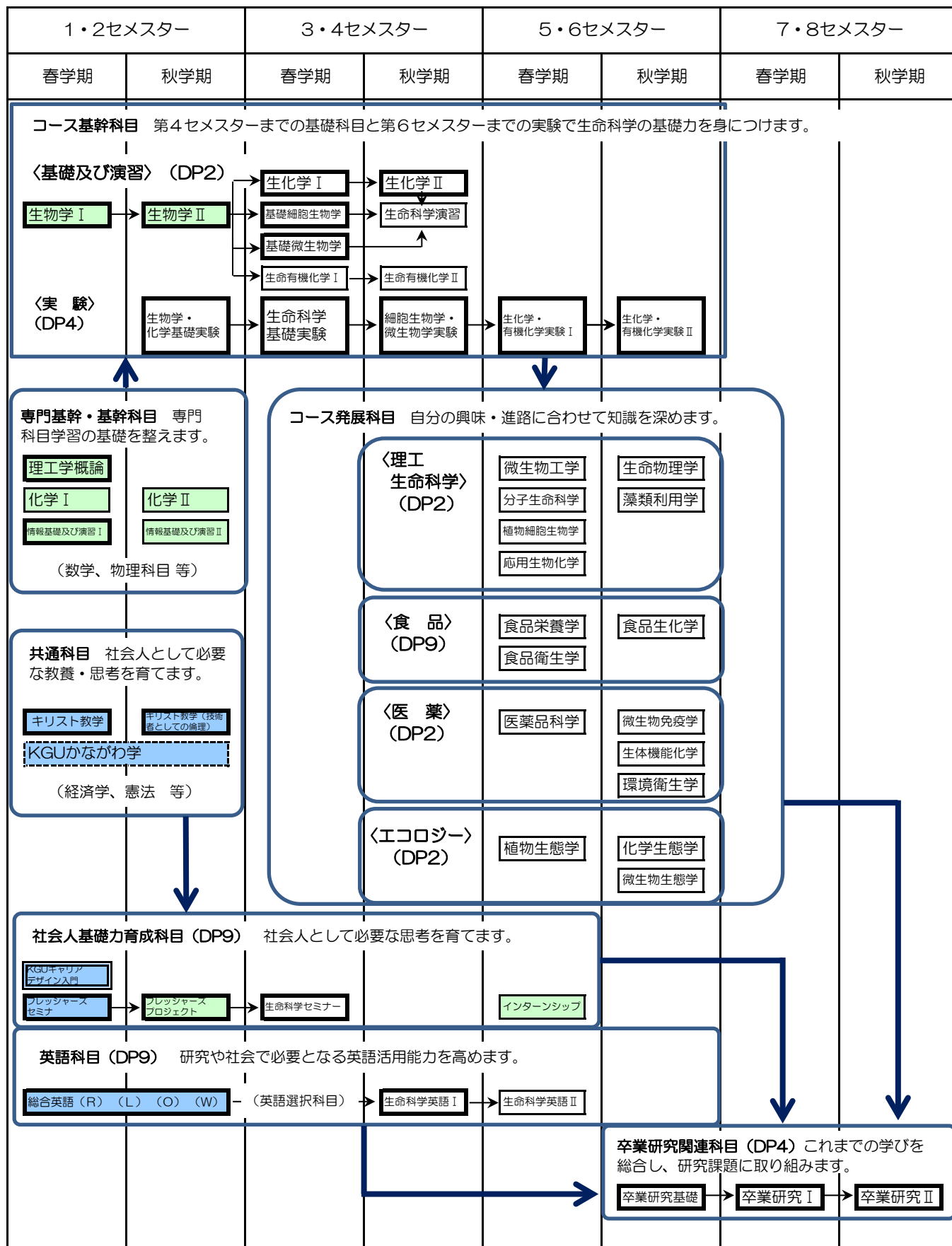
共通科目、専門応用科目、自主選択学修科目を含めて124単位以上
24単位

※1 : 必選別はコースにより異なる。

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		卒業要件 単位数	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
専門基幹科目 必修／選択必修／選択(※1)	数学	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災以外)	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災のみ)							共通科目、専門応用科目、自主選択学修科目を含めて124単位以上 2034単位(※2)
		線形数学Ⅰ(2)	線形数学Ⅱ(2)							
	代数学ⅠA(2) (数理・物理以外)	代数学ⅠB(2) (数理・物理以外)	代数学ⅠA(2) (数理・物理のみ)	代数学ⅠB(2) (数理・物理のみ)						
	幾何学ⅠA(2) (数理・物理以外)	幾何学ⅠB(2) (数理・物理以外)	代数学ⅡA(2)	幾何学ⅠB(2) (数理・物理のみ)						
			幾何学ⅠA(2) (数理・物理のみ)	幾何学ⅡA(2)						
			幾何学ⅡA(2)	微分方程式(2)						
			微分方程式(2)	数理統計学Ⅰ(2)						
			複素関数論Ⅰ(2)	複素関数論Ⅱ(2)						
	物理・ 学・生 物学・ 化学	物理学Ⅰ(2)	物理学Ⅲ(2)							
		物理学Ⅱ(2)	物理学Ⅳ(2)							
	化学Ⅰ(2)		栽培Ⅰ(1)	栽培Ⅱ(1)						
	生物学Ⅰ(2)									
機械	機械工学総論Ⅰ(2)	機械工学総論Ⅱ(2)	木材加工Ⅰ(2)	木材加工Ⅱ(2)						
			金属加工Ⅰ(2)	金属加工Ⅱ(2)						
			機械実習(1)							
電気			電気工学総論Ⅰ(2)	電気工学総論Ⅱ(2)						
				電気実習(1)						
情報	情報基礎及び演習Ⅰ(2)	情報基礎及び演習Ⅱ(2)	プログラミング基礎(2)	プログラミング応用(2)						
	情報概論(2)		Webプログラミング(2)							
環境科目	環境社会論(2)	環境フィールド演習(2)	環境と化学(2)	環境生態学(2)	環境マネジメント(2)	環境と法(2)				
			環境地球科学Ⅰ(2)	環境地球科学Ⅱ(2)						
概論科目	理工学概論(2)									
FP		フレッシュアズプロジェクト(2)								
インターン					春(5-6セメスター)： KGUインターンシップⅠ(事前指導)(1)	秋(6-7セメスター)： KGUインターンシップⅡ(実習)(1)				
					春学期(5-8セメスター)：インターンシップA(2)					
				秋学期(4-5セメスター)： 【廃】KGUインターンシップ事前指導(1)						
					春秋(通年)(5-7セメスター)：【廃】KGUインターンシップ実習(2)					
教職			春学期(1-8セメスター)：職業指導1(2)							
			秋学期(1-8セメスター)：職業指導2(2)							
専門基礎科目 必修／選択必修／選択(※1)	数学	数学基礎Ⅰ(2)	数学基礎Ⅱ(2)							
		理工学数学A(2)	理工学数学B(2)							
	物理学・ 化学・ 生物学			物理学総論Ⅰ(2)	物理学総論Ⅱ(2)					
				春学期(1-4セメスター)：物理学実験Ⅰ(1)						
				秋学期(1-4セメスター)：物理学実験Ⅱ(1)						
			化学Ⅱ(2)	化学総論Ⅰ(2)	化学総論Ⅱ(2)					
	生物学総論Ⅰ(2)	化学実験(2)	生物学総論Ⅱ(2)	生物学実験(2)						
地学	地学総論Ⅰ(2)	地学総論Ⅱ(2)	地学実験(2)							
実験	工学基礎実験Ⅰ(2)	工学基礎実験Ⅱ(2)								
情報		情報と職業(2)		Visual Basicプログラミング(2)						

※1：必修別はコースにより異なる。

※2：卒業要件必要単位数はコースにより異なる。各コースの卒業資格要件のページを参照すること。



必修科目

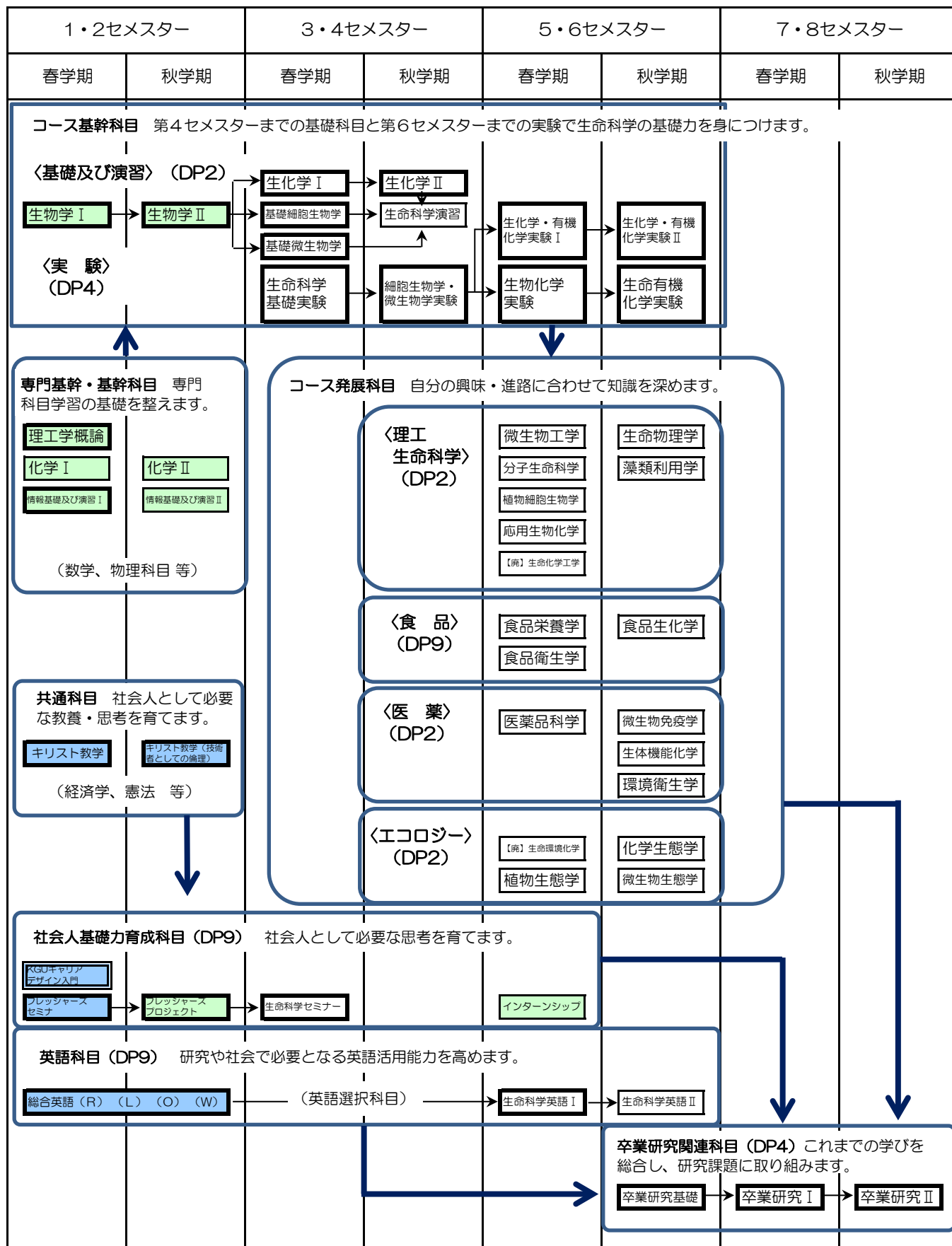
登録必須科目

選択必修科目

共通科目

専門基幹科目 / 専門基礎科目

理工学科（生命学系） 生命科学コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用



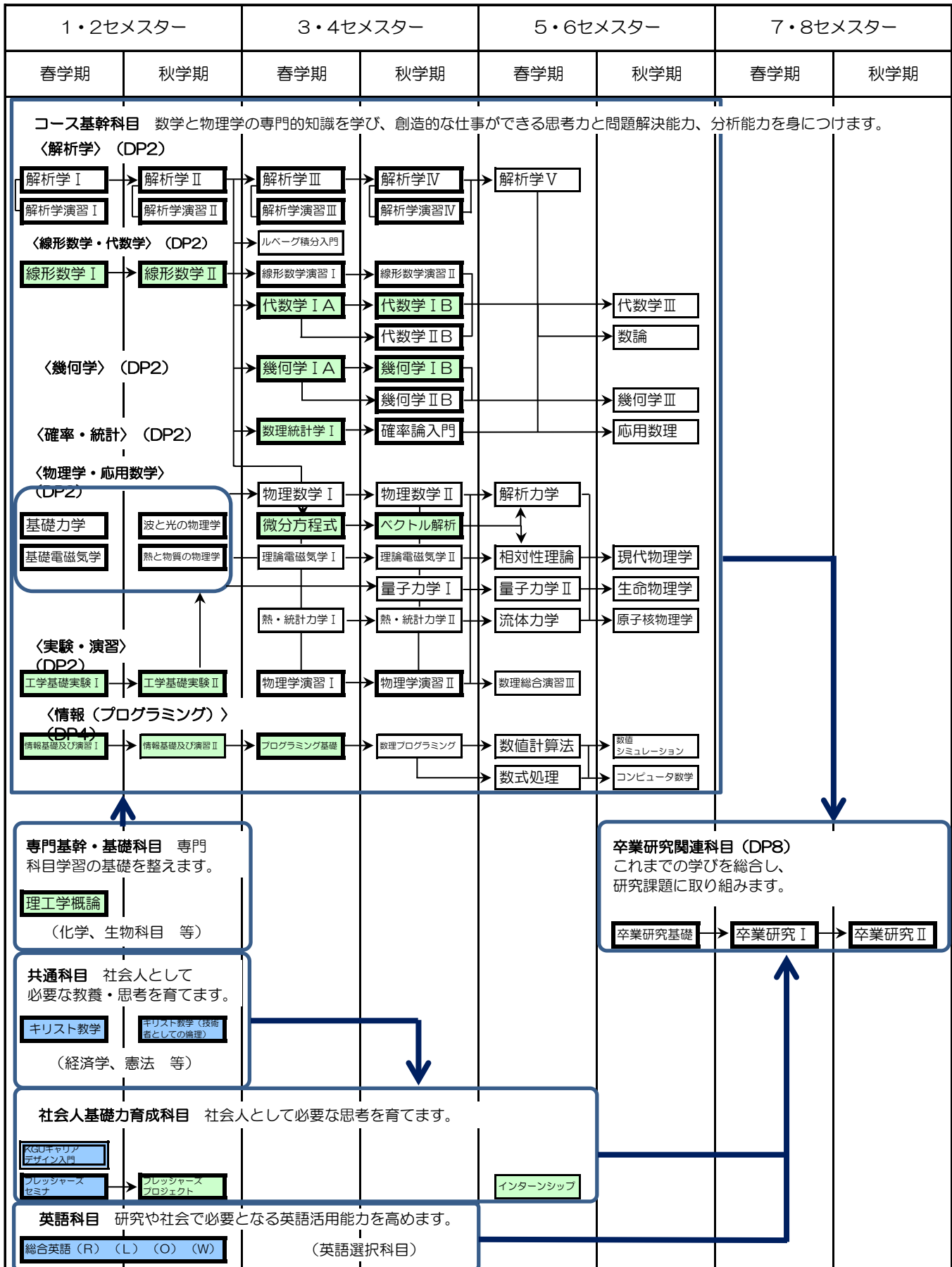
必修科目

登録必須科目

共通科目

専門基幹科目 / 専門基礎科目

理工学科（数物系）数理・物理コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生

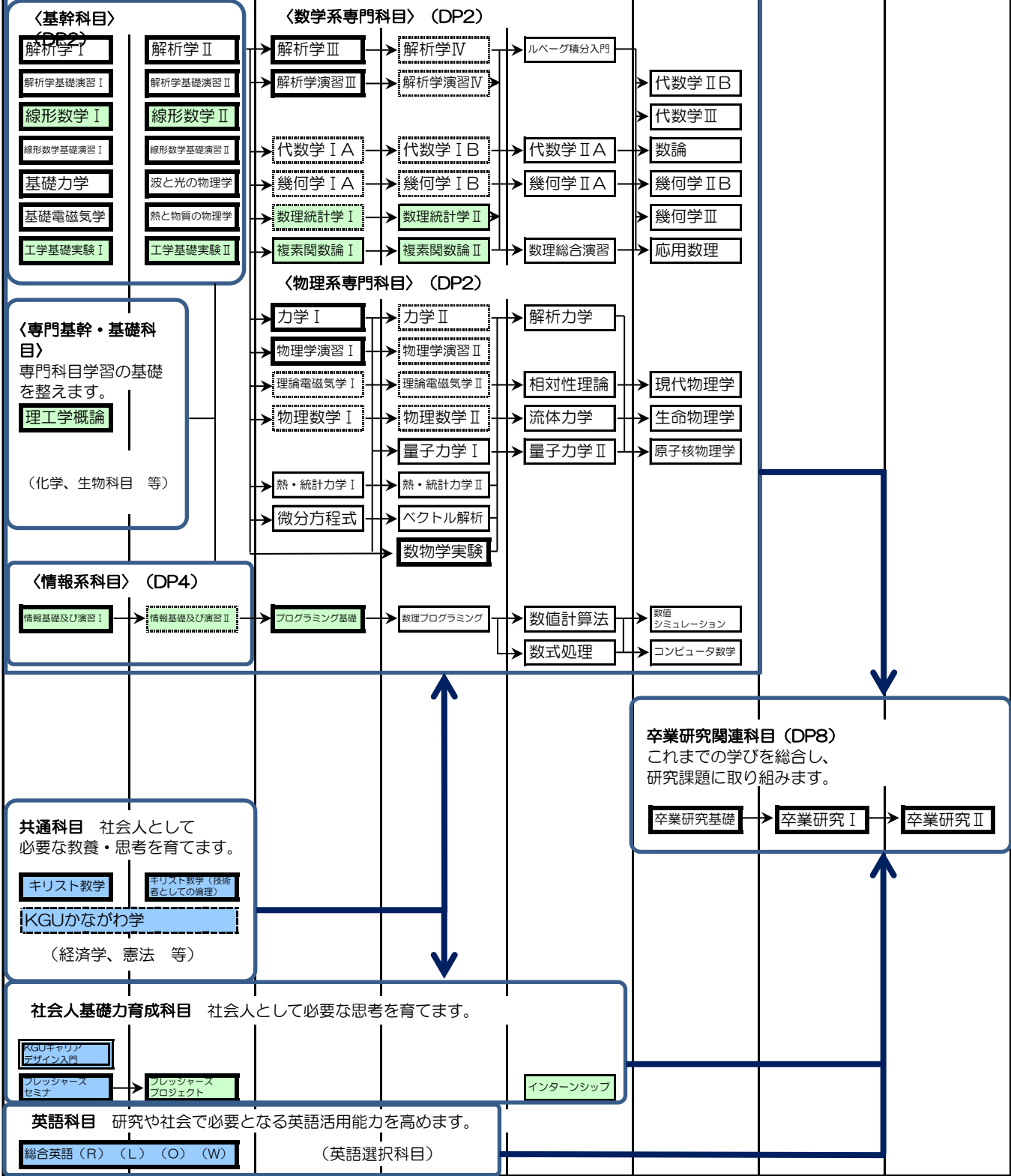


 必修科目
 登録必須科目
 共通科目
 専門基幹科目 / 専門基礎科目

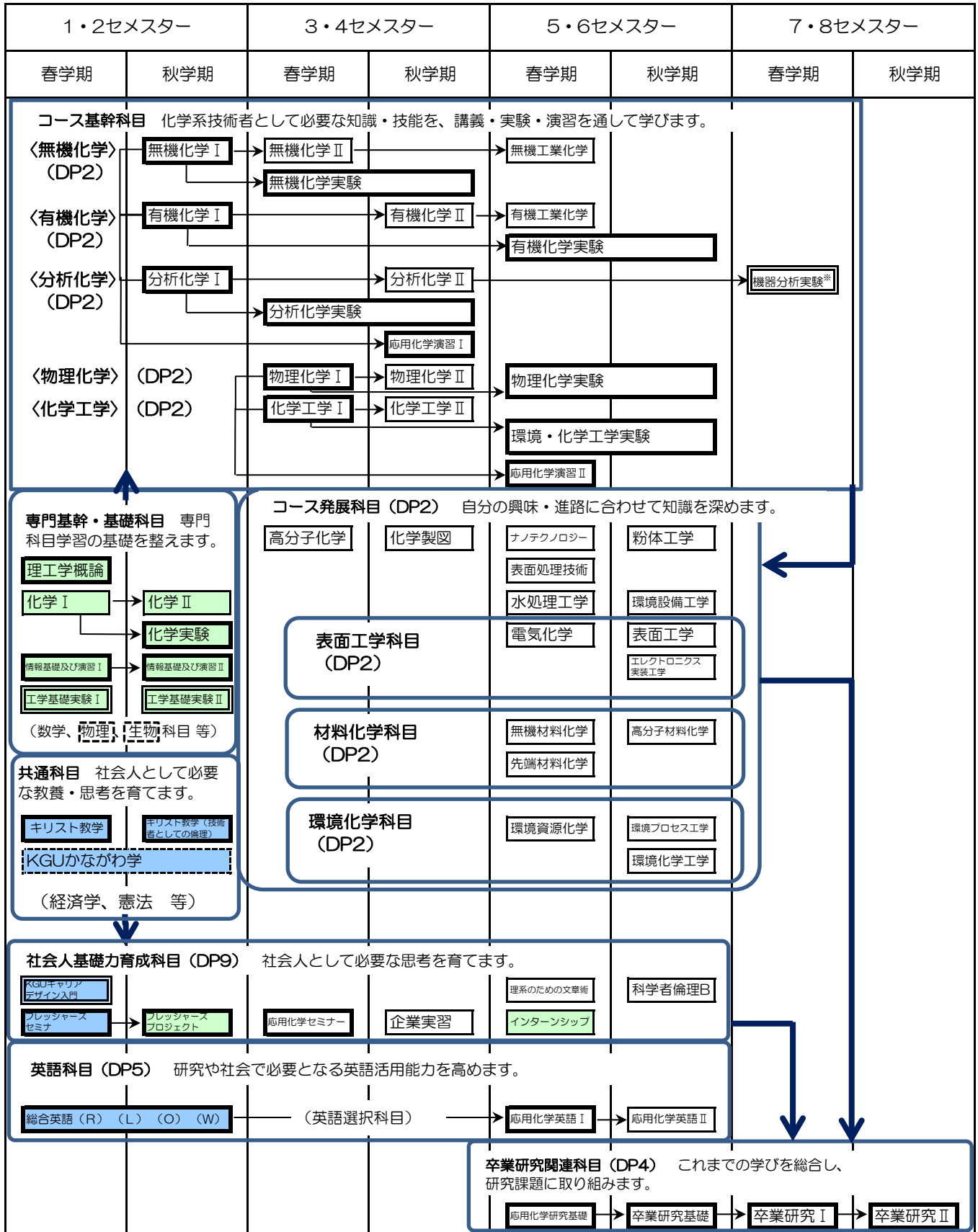
理工学科（数物理学系）数理・物理コース カリキュラムマップ 2017年度以降入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期

コース基幹科目 数学と物理学の専門的知識を学び、創造的な仕事ができる思考力と問題解決能力、分析能力を身につけます。



必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目 / 専門基礎科目



※機器分析実験は、2017年度入学生は選択科目。2018年度入学生は登録必須科目。

必修科目

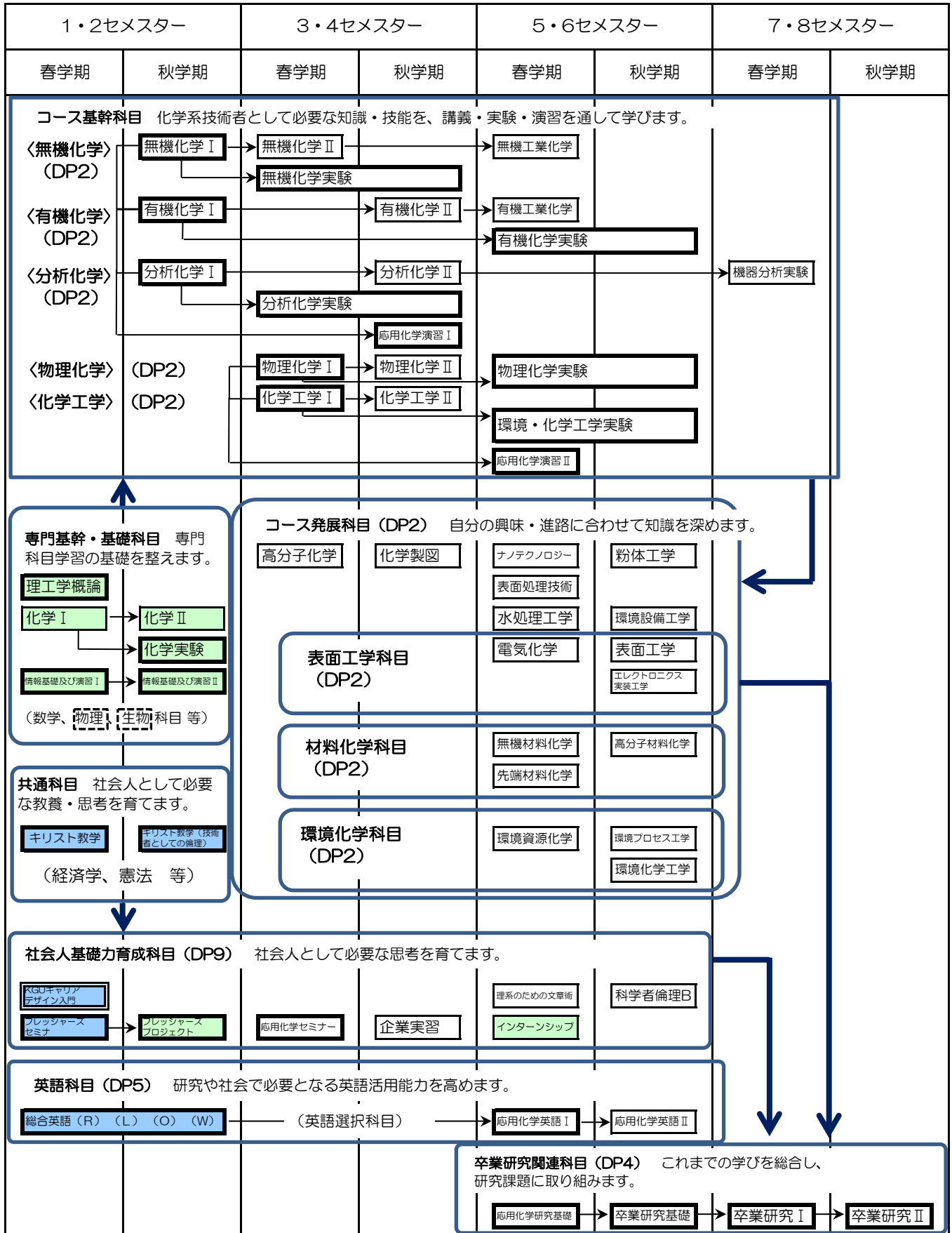
登録必須科目

選択必修科目

共通科目

専門基幹科目 / 専門基礎科目

理工学科（化学学系） 応用化学コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用



必修科目

登録必須科目

選択必修科目

共通科目

専門基幹科目 / 専門基礎科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Fall	Spring	Fall	Spring	Fall	Spring	Fall
<p>コース基幹科目 ものづくりに必要な知識および経験を積み、広く機械工学を学びます。</p>							
<p>〈機構〉 (DP2)</p> <p>機構学Ⅰ → 機構学Ⅱ</p> <p>〈材料力学〉 (DP2)</p> <p>〈機械力学〉 (DP2)</p> <p>〈熱力学〉 (DP2)</p> <p>〈流体力学〉 (DP2)</p> <p>〈機械製作・材料〉 (DP2)</p>		<p>機械要素Ⅰ → 機械要素Ⅱ</p> <p>材料力学Ⅰ → 材料力学Ⅱ</p> <p>熱力学Ⅰ → 熱力学Ⅱ</p> <p>機械材料Ⅰ → 機械材料Ⅱ</p> <p>機械製作法Ⅰ → 機械製作法Ⅱ</p>		<p>材料評価工学Ⅰ → 材料評価工学Ⅱ</p> <p>トライボロジー → 機械力学Ⅰ → 機械力学Ⅱ</p> <p>水力学Ⅰ → 水力学Ⅱ</p> <p>生産工学</p> <p>生産管理</p>		<p>【廃】油圧機器</p> <p>【廃】流体機械</p>	
<p>〈設計・製図〉 (DP2)</p> <p>図学 → 機械製図</p> <p>〈実験・実習・演習〉 (DP2)</p> <p>工作実習Ⅰ → 工作実習Ⅱ</p> <p>機械数理</p>		<p>2D-CAD演習 → 3D-CAD演習</p> <p>熱力・材力演習</p> <p>総合機械プロジェクトⅠ → 総合機械プロジェクトⅡ</p> <p>機械実験Ⅰ → 機械実験ⅡA</p>		<p>機械設計製図Ⅰ → 機械設計製図Ⅱ</p> <p>3D-CAE演習 → 3D-CAE演習</p> <p>水力・機力演習</p> <p>機械工学総合演習</p> <p>機械実験ⅡB</p>		<p>機械設計法</p>	
<p>コース発展科目 自分の興味・進路に合わせて知識を深めます。</p>							
		<p>〈メカトロニクス〉 (DP2)</p> <p>メカトロニクス演習 → 計測工学 → 制御工学 → 現代制御理論</p> <p>ロボットシステム工学</p> <p>福祉工学</p>					
		<p>〈自動車〉 (DP2)</p> <p>航空宇宙工学 → 自動車工学 → 自動車構造解析 → 自動車技術の変遷</p> <p>自動車とリサイクル</p> <p>内燃機関Ⅰ → 内燃機関Ⅱ</p>					
		<p>〈環境〉 (DP2)</p> <p>環境工学 → 未利用資源論</p> <p>リサイクルデザイン論</p>					
<p>〈デザイン〉 (DP2)</p> <p>デザインスキル → 工業デザイン概論 → CG演習 → カーデザイン</p> <p>人間工学</p>							

必修科目

登録必須科目

選択必修科目

共通科目

専門基幹科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 情報基礎及び演習Ⅰ 情報基礎及び演習Ⅱ (数学、物理、化学科目等)				卒業研究関連科目 (DP2) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎プレゼミ → 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ			
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) KGUかながわ学 (経済学、憲法等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 KGUキャリアデザイン入門 フレッシュマンセミナー → フレッシュマンプロジェクト				インターンシップ			
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)					

理工学科(機械学系) 総合機械コース

機械工学は、科学技術の知識・知恵を用いて、明日に向かっての全人類の観点から有益と思われる“もの”を創造する学問分野である。したがって、機械技術者は、機械工学における知識や技術の修得に留まらず、技術者倫理を有する必要がある。機械学系では、新エネルギー・環境・省資源・情報化・少子高齢化などの新しい時代のニーズに対応でき、アイデア豊かで、表現力・行動力をともなう人間性豊かな機械技術者を育成することを教育理念とする。そのため、本学系は、機械工学を構成するさまざまな学問のうち材料力学、工業熱力学、機械力学、水力学及び材料・工作を5本の柱とし、加えて機械設計、機械工作、機械実験などの実学を重視することで、幅広い教養、工学基礎及び機械工学の専門知識と技術に関して、デザインの分野も含めた幅広い科目を体系的に学び、科学的思考力と技術的実践力を修得する。

《コース編成・教育課程編成上の特色》

機械工学は、材料力学、機械力学・制御、熱力学、流体力学から構成される4力学を根底にして成立している。機械学系では、これらの基礎分野を学ぶとともに、航空・宇宙、福祉・環境、CAD、メカトロニクス、新素材・加工、工業デザインなどの最新技術についても修得する。そのため、プロジェクトを中心とした実学にシフトし、企画から完成までのプロセスを学び、創造力や感性・デザイン力を磨くことができるようになっている。

機械学系では、学系共通として、機械工学の根幹である「機械製図」「2D-CAD演習」「機械設計製図Ⅰ・Ⅱ」「工作実習Ⅰ・Ⅱ」「機械実験Ⅰ・ⅡA・ⅡB」「卒業研究基礎」を必修科目(18単位)とする。

総合機械コースは、「総合機械プロジェクトⅠ」を必修科目とするとともに、学系専門科目として「材料力学Ⅰ・Ⅱ」「熱力学Ⅰ・Ⅱ」「機械力学Ⅰ・Ⅱ」「水力学Ⅰ・Ⅱ」「機械要素Ⅰ・Ⅱ」「福祉工学」「航空宇宙工学」「制御工学」「機械製作法Ⅰ・Ⅱ」「CG演習」「3D-CAD演習」などを体系的に設置する。

理工学科（機械学系）総合機械コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 ものづくりに必要な知識および経験を積み、広く機械工学を学びます。</p>							
<p>〈機構〉 (DP2)</p> <p>機構学Ⅰ → 機構学Ⅱ</p> <p>〈材料力学〉 (DP2)</p> <p>〈機械力学〉 (DP2)</p> <p>〈熱力学〉 (DP2)</p> <p>〈流体力学〉 (DP2)</p> <p>〈機械製作・材料〉 (DP2)</p>		<p>機械要素Ⅰ → 機械要素Ⅱ</p> <p>材料力学Ⅰ → 材料力学Ⅱ</p> <p>熱力学Ⅰ → 熱力学Ⅱ</p> <p>機械材料Ⅰ → 機械材料Ⅱ</p> <p>機械製作法Ⅰ → 機械製作法Ⅱ</p>		<p>材料評価工学Ⅰ → 材料評価工学Ⅱ</p> <p>トライボロジー → 機械力学Ⅰ → 機械力学Ⅱ</p> <p>水力学Ⅰ → 水力学Ⅱ</p> <p>生産工学</p> <p>生産管理</p>		<p>【廃】油空圧機器</p> <p>【廃】流体機械</p>	
<p>〈設計・製図〉 (DP2)</p> <p>図学 → 機械製図 → 2D-CAD演習 → 機械設計製図Ⅰ → 機械設計製図Ⅱ → 機械設計法</p> <p>3D-CAD演習 → 3D-CAE演習</p> <p>【廃】CAD利用技術者演習</p>		<p>熱力・材力演習</p> <p>総合機械プロジェクトⅠ → 総合機械プロジェクトⅡ</p> <p>熱力・材力演習</p> <p>水力・機力演習</p> <p>機械工学総合演習</p>		<p>【廃】CAD利用技術者演習</p> <p>水力・機力演習</p> <p>機械工学総合演習</p>		<p>機械実験Ⅰ → 機械実験ⅡA → 機械実験ⅡB</p>	
<p>〈実験・実習・演習〉 (DP2)</p> <p>工作実習Ⅰ → 工作実習Ⅱ → 総合機械プロジェクトⅠ → 総合機械プロジェクトⅡ</p> <p>機械数理</p>		<p>熱力・材力演習</p> <p>総合機械プロジェクトⅠ → 総合機械プロジェクトⅡ</p> <p>熱力・材力演習</p> <p>水力・機力演習</p> <p>機械工学総合演習</p>		<p>熱力・材力演習</p> <p>水力・機力演習</p> <p>機械工学総合演習</p>		<p>熱力・材力演習</p> <p>水力・機力演習</p> <p>機械工学総合演習</p>	
<p>コース発展科目 自分の興味・進路に合わせて知識を深めます。</p>							
		<p>〈メカトロニクス〉 (DP2)</p> <p>メカトロニクス演習 → 計測工学 → 制御工学 → 現代制御理論</p> <p>ロボットシステム工学 → メカトロニクス</p> <p>福祉工学</p>		<p>計測工学 → 制御工学 → 現代制御理論</p> <p>ロボットシステム工学 → メカトロニクス</p> <p>福祉工学</p>		<p>現代制御理論</p>	
		<p>〈自動車〉 (DP2)</p> <p>航空宇宙工学 → 自動車工学 → 自動車構造解析 → 自動車技術の変遷</p> <p>自動車とリサイクル → 自動車技術文化史</p> <p>内燃機関Ⅰ → 内燃機関Ⅱ</p> <p>【廃】空調和工学</p>		<p>自動車工学 → 自動車構造解析 → 自動車技術の変遷</p> <p>自動車とリサイクル → 自動車技術文化史</p> <p>内燃機関Ⅰ → 内燃機関Ⅱ</p>		<p>自動車技術の変遷</p>	
		<p>〈環境〉 (DP2)</p> <p>環境工学 → 未利用資源論</p> <p>リサイクルデザイン論</p>		<p>未利用資源論</p>			
<p>〈デザイン〉 (DP2)</p> <p>デザインスキル → 工業デザイン概論 → CG演習 → カーデザイン</p> <p>【廃】デザインの歴史</p> <p>【廃】デザインの心理</p> <p>人間工学</p>		<p>カーデザイン</p>		<p>【廃】ライフデザイン論</p>		<p>【廃】近代建築史</p>	

必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 情報基礎及び演習Ⅰ 情報基礎及び演習Ⅱ (数学、物理、化学科目等)				卒業研究関連科目 (DP2) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎プレゼミ → 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ			
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) (経済学、憲法等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 RGUキャリアデザイン入門 プレッジャーズセミナー → プレッジャーズプロジェクト				インターンシップ			
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)					

理工学科(機械学系) 総合機械コース

機械工学は、科学技術の知識・知恵を用いて、明日に向かっての全人類の観点から有益と思われる“もの”を創造する学問分野である。したがって、機械技術者は、機械工学における知識や技術の修得に留まらず、技術者倫理を有する必要がある。機械学系では、新エネルギー・環境・省資源・情報化・少子高齢化などの新しい時代のニーズに対応でき、アイデア豊かで、表現力・行動力をもたぬ人間性豊かな機械技術者を育成することを教育理念とする。そのため、本学系は、機械工学を構成するさまざまな学問のうち材料力学、工業熱力学、機械力学、水力学及び材料・工作を5本の柱とし、加えて機械設計、機械工作、機械実験などの実学を重視することで、幅広い教養、工学基礎及び機械工学の専門知識と技術に関して、デザインの分野も含めた幅広い科目を体系的に学び、科学的思考力と技術的実践力を修得する。

《コース編成・教育課程編成上の特色》

機械工学は、材料力学、機械力学・制御、熱力学、流体力学から構成される4力学を根底にして成立している。機械学系では、これらの基礎分野を学ぶとともに、航空・宇宙、福祉・環境、CAD、メカトロニクス、新素材・加工、工業デザインなどの最新技術についても修得する。そのため、プロジェクトを中心とした実学にシフトし、企画から完成までのプロセスを学び、創造力や感性・デザイン力を磨くことができるようになっている。

機械学系では、学系共通として、機械工学の根幹である「機械製図」「2D-CAD演習」「機械設計製図Ⅰ・Ⅱ」「工作実習Ⅰ・Ⅱ」「機械実験Ⅰ・ⅡA・ⅡB」「卒業研究基礎」を必修科目(18単位)とする。

総合機械コースは、「総合機械プロジェクトⅠ」を必修科目とするとともに、学系専門科目として「材料力学Ⅰ・Ⅱ」「熱力学Ⅰ・Ⅱ」「機械力学Ⅰ・Ⅱ」「水力学Ⅰ・Ⅱ」「機械要素Ⅰ・Ⅱ」「福祉工学」「航空宇宙工学」「制御工学」「機械製作法Ⅰ・Ⅱ」「CG演習」「3D-CAD演習」などを体系的に設置する。

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Fall	Spring	Fall	Spring	Fall	Spring	Fall
<p>コース基幹科目 演習・実習科目に自動車を教材として用い、自動車を通して広く機械工学を学びます。</p>							
<p> 〈機構〉 (DP2) 機構学Ⅰ → 機構学Ⅱ → 機械要素Ⅰ → 機械要素Ⅱ 材料力学Ⅰ → 材料力学Ⅱ → 材料評価工学Ⅰ → 材料評価工学Ⅱ トライボロジー → 機械力学Ⅰ → 機械力学Ⅱ 熱力学Ⅰ → 熱力学Ⅱ 水力学Ⅰ → 水力学Ⅱ → 【廃】油圧機器 【廃】流体機械 機械材料Ⅰ → 機械材料Ⅱ 機械製法Ⅰ → 機械製法Ⅱ → 生産工学 生産管理 </p>							
<p> 〈設計・製図〉 (DP2) 図学 → 機械製図 → 2D-CAD演習 → 機械設計製図Ⅰ → 機械設計製図Ⅱ → 機械設計法 3D-CAD演習 → 3D-CAE演習 〈実験・実習・演習〉 (DP2) 熱力・材力演習 水力・機力演習 機械工学総合演習 工作実習Ⅰ → 工作実習Ⅱ → 自動車プロジェクトⅠ → 自動車プロジェクトⅡ → 機械実験Ⅰ → 機械実験ⅡA → 機械実験ⅡB 機械数理 </p>							
<p>コース発展科目 自分の興味・進路に合わせて知識を深めます。</p>							
<p> 〈メカトロニクス〉 (DP2) 計測工学 → 制御工学 → 現代制御理論 メカトロニクス演習 → ロボットシステム工学 → メカトロニクス 福祉工学 </p>							
<p> 〈自動車〉 (DP2) 航空宇宙工学 → 自動車工学 → 自動車構造解析 → 自動車技術文化史 → 自動車技術の変遷 自動車とリサイクル → 内燃機関Ⅰ → 内燃機関Ⅱ スマートカー エレクトロニクス </p>							
<p> 〈環境〉 (DP2) 環境工学 → 未利用資源論 リサイクル デザイン論 </p>							
<p> 〈デザイン〉 (DP2) デザインスキル → 工業デザイン概論 → CG演習 → カーデザイン 人間工学 </p>							

必修科目

登録必須科目

選択必修科目

共通科目

専門基幹科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 情報基礎及び演習Ⅰ 情報基礎及び演習Ⅱ (数学、物理、化学科目等)				卒業研究関連科目 (DP2) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎プレゼミ → 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ			
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教 キリスト教(技術者としての倫理) KGUかながわ学 (経済学、憲法等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 KGUキャリアデザイン入門 フレッシュワース 세미나 → フレッシュワースプロジェクト				インターンシップ			
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)					

理工学科(機械学系) 自動車コース

機械工学は、科学技術の知識・知恵を用いて、明日に向かっての全人類の観点から有益と思われる“もの”を創造する学問分野である。したがって、機械技術者は、機械工学における知識や技術の修得に留まらず、技術者倫理を有する必要がある。機械学系では、新エネルギー・環境・省資源、情報化・少子高齢化などの新しい時代のニーズに対応でき、アイデア豊かで、表現力・行動力をともなう人間性豊かな機械技術者を育成することを教育理念とする。そのため、本学系は、機械工学を構成するさまざまな学問のうち材料力学、工業熱力学、機械力学、水力学及び材料・工作を5本の柱とし、加えて機械設計、機械工作、機械実験などの実学を重視することで、幅広い教養、工学基礎及び機械工学の専門知識と技術に関して、デザインの分野も含めた幅広い科目を体系的に学び、科学的思考力と技術的実践力を修得する。

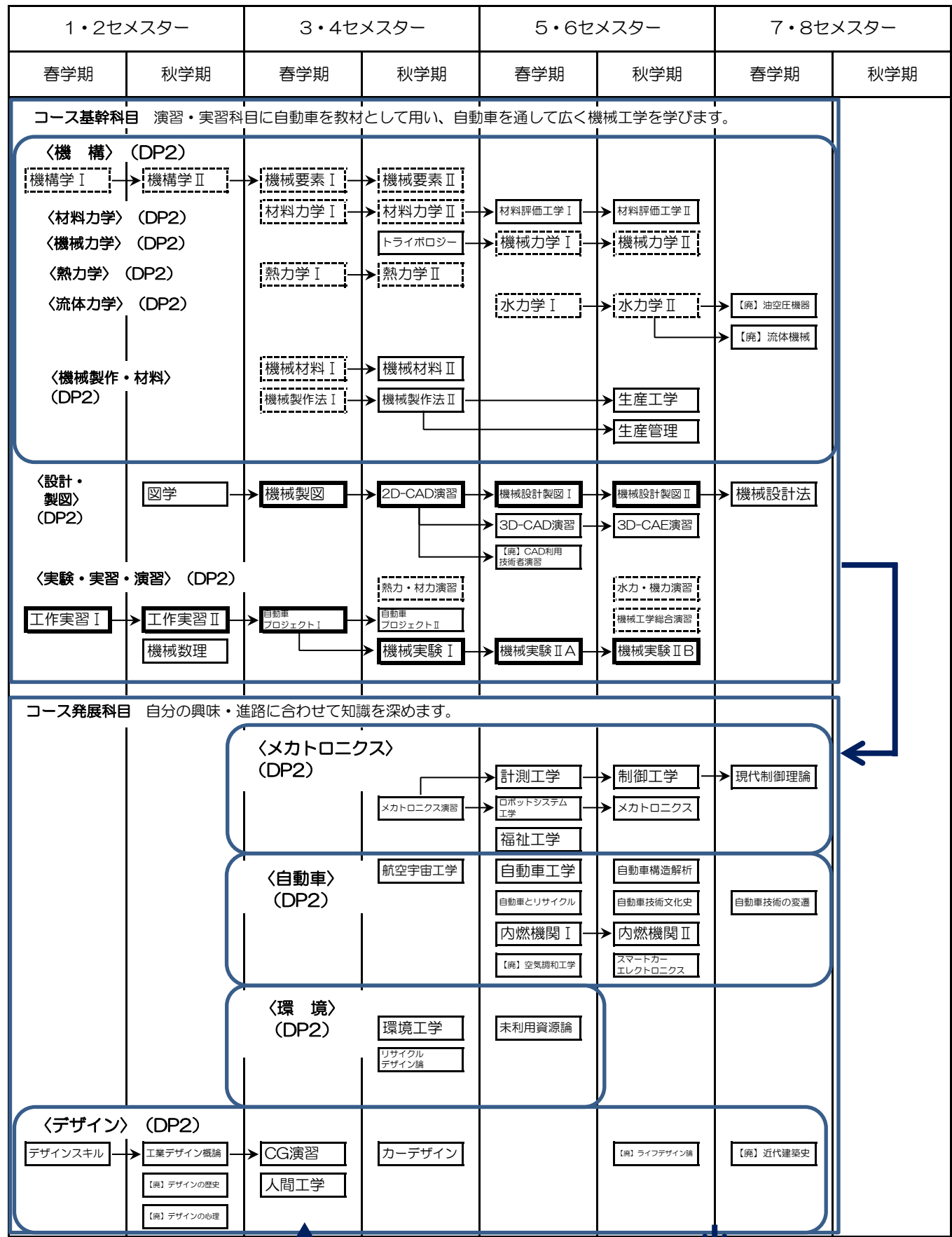
《コース編成・教育課程編成上の特色》

機械工学は、材料力学、機械力学・制御、熱力学、流体力学から構成される4力学を根底にして成立している。機械学系では、これらの基礎分野を学ぶとともに、航空・宇宙、福祉・環境、CAD、メカトロニクス、新素材・加工、工業デザインなどの最新技術についても修得する。そのため、プロジェクトを中心とした実学にシフトし、企画から完成までのプロセスを学び、創造力や感性・デザイン力を磨くことができるようになっている。

機械学系では、学系共通として、機械工学の根幹である「機械製図」「2D-CAD演習」「機械設計製図Ⅰ・Ⅱ」「工作実習Ⅰ・Ⅱ」「機械実験Ⅰ・ⅡA・ⅡB」「卒業研究基礎」を必修科目(18単位)とする。

自動車コースは、「自動車プロジェクトⅠ」を必修科目とするとともに、学系専門科目として「材料力学Ⅰ・Ⅱ」「熱力学Ⅰ・Ⅱ」「機械力学Ⅰ・Ⅱ」「水力学Ⅰ・Ⅱ」「自動車工学」「自動車とリサイクル」「内燃機関」「自動車構造解析」「自動車工学」「メカトロニクス演習」などを体系的に設置する。

理工学科（機械学系）自動車コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用



必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 情報基礎及び演習Ⅰ 情報基礎及び演習Ⅱ (数学、物理、化学科目等)				卒業研究関連科目 (DP2) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎プレゼミ → 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ			
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) (経済学、憲法等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 RGUキャリアデザイン入門 プレッジャーズセミナー → プレッジャーズプロジェクト				インターンシップ			
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)					

理工学科（機械学系）自動車コース

機械工学は、科学技術の知識・知恵を用いて、明日に向かっての全人類の観点から有益と思われる“もの”を創造する学問分野である。したがって、機械技術者は、機械工学における知識や技術の修得に留まらず、技術者倫理を有する必要がある。機械学系では、新エネルギー・環境・省資源・情報化・少子高齢化などの新しい時代のニーズに対応でき、アイデア豊かで、表現力・行動力をもとめよう人間性豊かな機械技術者を育成することを教育理念とする。そのため、本学系は、機械工学を構成するさまざまな学問のうち材料力学、工業熱力学、機械力学、水力学及び材料・工作を5本の柱とし、加えて機械設計、機械工作、機械実験などの実学を重視することで、幅広い教養、工学基礎及び機械工学の専門知識と技術に関して、デザインの分野も含めた幅広い科目を体系的に学び、科学的思考力と技術的実践力を修得する。

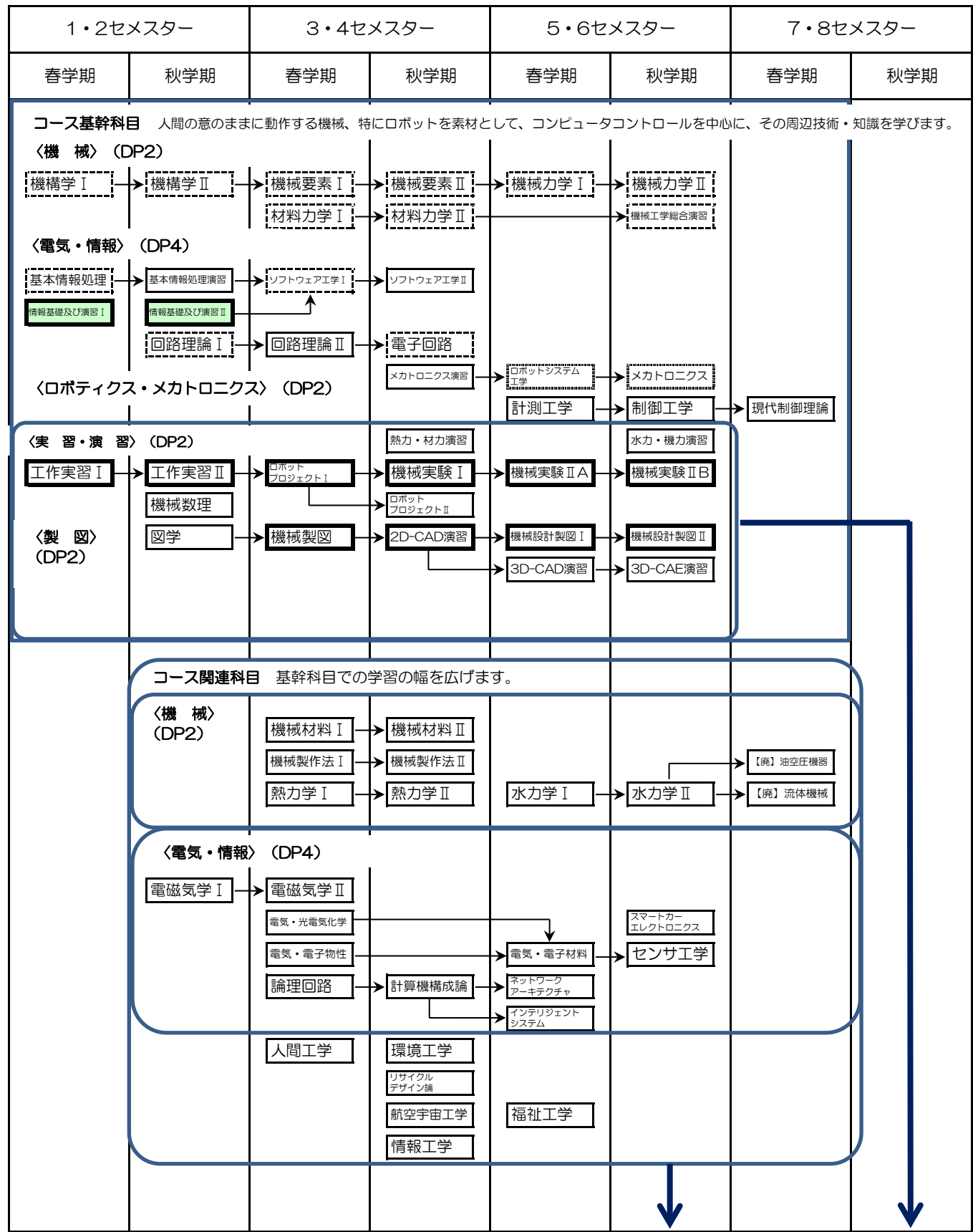
《コース編成・教育課程編成上の特色》

機械工学は、材料力学、機械力学・制御、熱力学、流体力学から構成される4力学を根底にして成立している。機械学系では、これらの基礎分野を学ぶとともに、航空・宇宙、福祉・環境、CAD、メカトロニクス、新素材・加工、工業デザインなどの最新技術についても修得する。そのため、プロジェクトを中心とした実学にシフトし、企画から完成までのプロセスを学び、創造力や感性・デザイン力を磨くことができるようになっている。

機械学系では、学系共通として、機械工学の根幹である「機械製図」「2D-CAD演習」「機械設計製図Ⅰ・Ⅱ」「工作実習Ⅰ・Ⅱ」「機械実験Ⅰ・ⅡA・ⅡB」「卒業研究基礎」を必修科目（18単位）とする。

自動車コースは、「自動車プロジェクトⅠ」を必修科目とするとともに、学系専門科目として「材料力学Ⅰ・Ⅱ」「熱力学Ⅰ・Ⅱ」「機械力学Ⅰ・Ⅱ」「水力学Ⅰ・Ⅱ」「自動車工学」「自動車とリサイクル」「内燃機関」「自動車構造解析」「自動車工学」「メカトロニクス演習」などを体系的に設置する。

理工学科（機械学系） ロボティクスコース カリキュラムマップ 2017年度以降入学生用



必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 (数学、物理、化学科目 等)				卒業研究関連科目 (DP2) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎 → 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ			
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) KGUかながわ学 (経済学、憲法 等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 KGUキャリアデザイン入門 フレッシュワースプロジェクト				インターンシップ			
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)					

理工学科（機械学系）ロボティクスコース

機械工学は、科学技術の知識・知恵を用いて、明日に向かっての全人類の観点から有益と思われる“もの”を創造する学問分野である。したがって、機械技術者は、機械工学における知識や技術の修得に留まらず、技術者倫理を有する必要がある。機械学系では、新エネルギー・環境・省資源、情報化・少子高齢化などの新しい時代のニーズに対応でき、アイデア豊かで、表現力・行動力をともなう人間性豊かな機械技術者を育成することを教育理念とする。そのため、本学系は、機械工学を構成するさまざまな学問のうち材料力学、工業熱力学、機械力学、水力学及び材料・工作を5本の柱とし、加えて機械設計、機械工作、機械実験などの実学を重視することで、幅広い教養、工学基礎及び機械工学の専門知識と技術に関して、デザインの分野も含めた幅広い科目を体系的に学び、科学的思考力と技術的実践力を修得する。

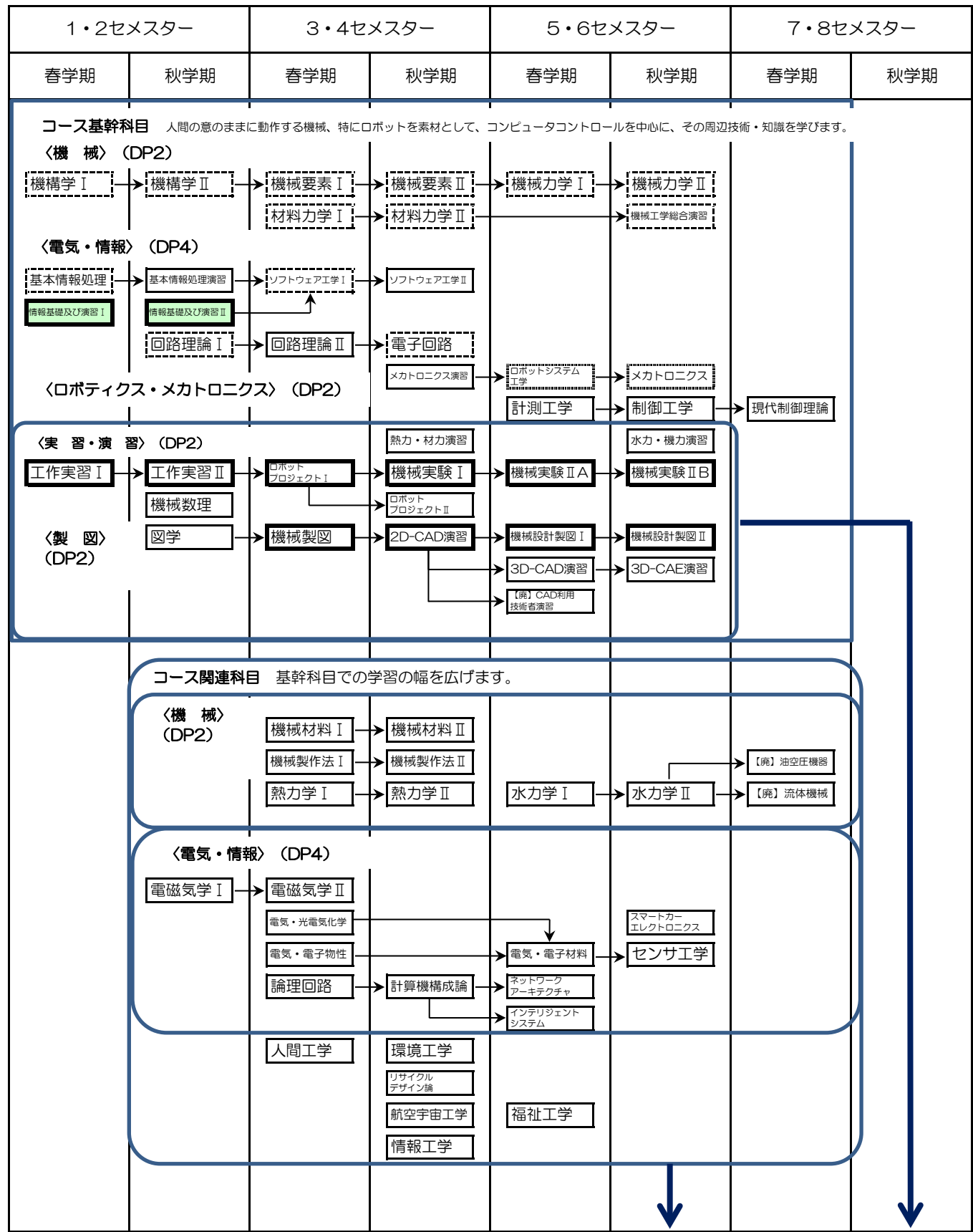
《コース編成・教育課程編成上の特色》

機械工学は、材料力学、機械力学・制御、熱力学、流体力学から構成される4力学を根底にして成立している。機械学系では、これらの基礎分野を学ぶとともに、航空・宇宙、福祉・環境、CAD、メカトロニクス、新素材・加工、工業デザインなどの最新技術についても修得する。そのため、プロジェクトを中心とした実学にシフトし、企画から完成までのプロセスを学び、創造力や感性・デザイン力を磨くことができるようになっている。

機械学系では、学系共通として、機械工学の根幹である「機械製図」「2D-CAD演習」「機械設計製図Ⅰ・Ⅱ」「工作実習Ⅰ・Ⅱ」「機械実験Ⅰ・ⅡA・ⅡB」「卒業研究基礎」を必修科目（18単位）とする。

ロボティクスコースは、「ロボットプロジェクトⅠ」を必修科目とするとともに、学系専門科目として「材料力学Ⅰ・Ⅱ」「熱力学Ⅰ・Ⅱ」「機械力学Ⅰ・Ⅱ」「水力学Ⅰ・Ⅱ」「ロボットシステム工学」「センサ工学」「基本情報処理」「回路理論」「メカトロニクス演習」などを体系的に設置する。

理工学科（機械学系）ロボティクスコース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用



必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 (数学、物理、化学科目 等)				卒業研究関連科目 (DP2) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎フレゼミ → 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ			
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) (経済学、憲法 等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 RGUキャリアデザイン入門 プレッジャーズセミナー → プレッジャーズプロジェクト				インターンシップ			
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)					

理工学科(機械学系) ロボティクスコース

機械工学は、科学技術の知識・知恵を用いて、明日に向かっての全人類の観点から有益と思われる“もの”を創造する学問分野である。したがって、機械技術者は、機械工学における知識や技術の修得に留まらず、技術者倫理を有する必要がある。機械学系では、新エネルギー・環境・省資源、情報化・少子高齢化などの新しい時代のニーズに対応でき、アイデア豊かで、表現力・行動力をともなう人間性豊かな機械技術者を育成することを教育理念とする。そのため、本学系は、機械工学を構成するさまざまな学問のうち材料力学、工業熱力学、機械力学、水力学及び材料・工作を5本の柱とし、加えて機械設計、機械工作、機械実験などの実学を重視することで、幅広い教養、工学基礎及び機械工学の専門知識と技術に関して、デザインの分野も含めた幅広い科目を体系的に学び、科学的思考力と技術的実践力を修得する。

《コース編成・教育課程編成上の特色》

機械工学は、材料力学、機械力学・制御、熱力学、流体力学から構成される4力学を根拠にして成立している。機械学系では、これらの基礎分野を学ぶとともに、航空・宇宙、福祉・環境、CAD、メカトロニクス、新素材・加工、工業デザインなどの最新技術についても修得する。そのため、プロジェクトを中心とした実学にシフトし、企画から完成までのプロセスを学び、創造力や感性・デザイン力を磨くことができるようになっている。

機械学系では、学系共通として、機械工学の根幹である「機械製図」「2D-CAD演習」「機械設計製図Ⅰ・Ⅱ」「工作実習Ⅰ・Ⅱ」「機械実験Ⅰ・ⅡA・ⅡB」「卒業研究基礎」を必修科目(18単位)とする。

ロボティクスコースは、「ロボットプロジェクトⅠ」を必修科目とするとともに、学系専門科目として「材料力学Ⅰ・Ⅱ」「熱力学Ⅰ・Ⅱ」「機械力学Ⅰ・Ⅱ」「水力学Ⅰ・Ⅱ」「ロボットシステム工学」「センサ工学」「基本情報処理」「回路理論」「メカトロニクス演習」などを体系的に設置する。

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 電気・電子技術者として豊かな社会の構築に貢献するためのエッセンスを学びます。</p> <p>〈電磁気学〉(DP2) 電磁気学Ⅰ → 電磁気学Ⅱ → 電磁解析学</p> <p>〈回路〉(DP2) 回路理論Ⅰ → 回路理論Ⅱ → 応用回路理論 → 電気電子総合演習</p> <p>〈情報処理〉(DP2) 基本情報処理 → 基本情報処理演習 → ソフトウェア工学Ⅰ → ソフトウェア工学Ⅱ</p> <p>〈実験〉(DP11) 電気電子情報基礎実験Ⅰ → 電気電子情報基礎実験Ⅱ → 電気電子情報実験 → 電気電子情報応用実験A / 電気電子情報応用実験B</p>							
<p>コース発展科目 自分の興味・進路に合わせて知識を深めます。</p> <p>〈エネルギーシステム〉(DP2) 電気機器学Ⅰ → 電気機器学Ⅱ → 電気機器設計製図 → パワーエレクトロニクス → 電動力応用</p> <p>送配電工学Ⅰ → 送配電工学Ⅱ</p> <p>高電圧工学</p> <p>電力発生工学Ⅰ → 電力発生工学Ⅱ → 電気法規・施設管理</p> <p>〈ナノ電子デバイス〉(DP2) 電気・電子物性 / 電気・光電気化学 → 電子工学 → 電子エレクトロニクス / 電気・電子材料 → センサ工学 → 集積回路</p> <p>〈ITシステム〉(DP2) ネットワーク演習Ⅰ → ネットワーク演習Ⅱ → ネットワークアーキテクチャ → インテリジェントシステム → 情報システム</p> <p>システム制御Ⅰ → システム制御Ⅱ → 制御工学 → 現代制御理論</p> <p>システム工学</p> <p>生体工学 → 認知科学</p> <p>生体計測プログラミングⅠ → 生体計測プログラミングⅡ → 生体データ解析</p> <p>〈通信〉(DP2) ネットワークプロトコル → ワイヤレス・モバイルネットワーク → 伝送工学 / 通信工学 → 電波工学 → 通信機器 / 通信法規</p>							
<p>専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。</p> <p>理工学概論 / 物理学Ⅰ / 理工学数学A / 工学基礎実験Ⅰ / 情報基礎及び演習Ⅰ</p> <p>物理学Ⅲ / 理工学数学B / 工学基礎実験Ⅱ</p> <p>(化学、生物科目等)</p>							

 必修科目

 登録必須科目

 選択必修科目

 共通科目

 専門基幹科目 / 専門基礎科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) KGUかながわ学 (経済学、憲法 等)						卒業研究関連科目 (DP7) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ	
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 KGUキャリアデザイン入門 プレジャース 세미나 → プレジャースプロジェクト インターンシップ							
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)		電気電子技術英語			

理工学科（電気学系）電気・電子コース

電気・電子・情報工学に基づく技術は、絶え間ない革新を続けながら、現代社会をより安全・安心で豊かなものにするためにきわめて大きい役割を果たしている。また、それらの技術は、きわめて広範にかつ学際的に発展し続けており、なかでも、情報計測学とヒトに密接に関連する心理学、解剖生理学などを統合した人間情報計測学は、健康・スポーツ科学と融合することで、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で大きな役割を果たしている。

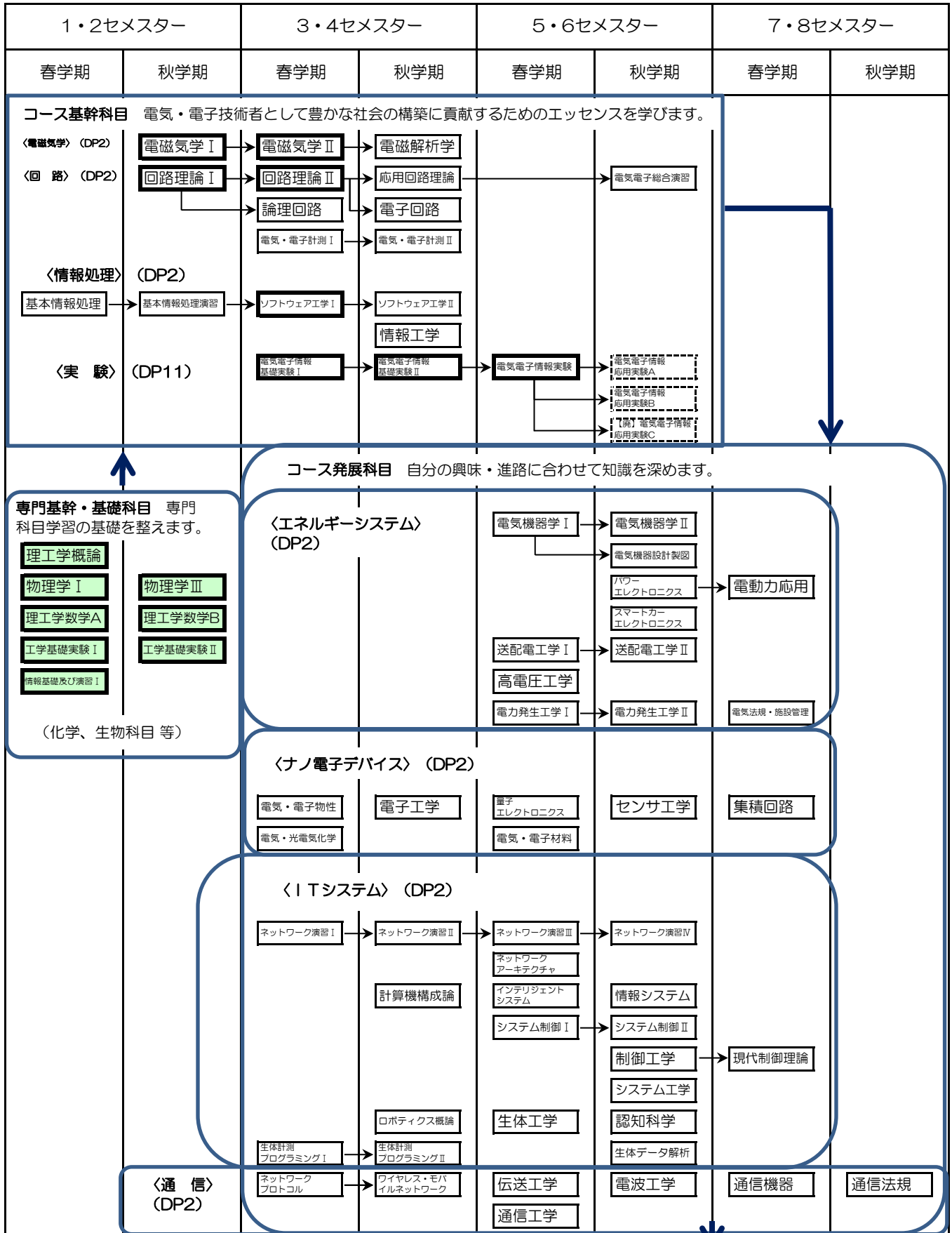
電気学系は、環境にやさしいエネルギーの創成、新しい電子素子や発光素子の省エネ化・小型化・低コスト化を実現する技術を研究・開発をするための専門知識を修得した人材、ならびに健康・スポーツ科学と人間情報計測学に関する専門知識を修得した人材を育成する。さらに、実験実習を通じて関連する知識・技術を肌で体験することで、実践力、問題解決能力を身につけた、豊かな社会の構築に寄与できる人材を育成することを教育目標とする。

《コース編成・教育課程編成上の特色》

電気学系は、電気・電子コースと健康・スポーツ計測コースで編成され、系統的な専門基礎知識の修得と、その総合による論理的思考力、応用力、問題解決能力の育成に重点を置いた教育課程を編成する。

電気・電子コースは、電気電子工学の根幹である「電磁気学」「回路理論」「ソフトウェア工学」「電気電子情報基礎実験」「電気電子情報実験」「電気電子情報応用実験」を必修科目及び選択必修科目（22単位）とするとともに、電気分野に関する学系専門科目として「電力発生工学」「送配電工学」「パワーエレクトロニクス」「電気機器学」「スマートカーエレクトロニクス」などを、電子分野に関する学系専門科目として「電気・光電気化学」「電子工学」「量子エレクトロニクス」「電気・電子物性」「電気・電子材料」などを体系的に設置する。電気分野では、クリーンエネルギーの創成とスマートグリッド技術で支える新しい電力網、電子分野では、ナノテクノロジーを駆使した最先端な電子材料に教育の主眼を置く。

理工学科（電気学系）電気・電子コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用



 必修科目

 登録必須科目

 選択必修科目

 共通科目

 専門基幹科目 / 専門基礎科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 (経済学、憲法 等) キリスト教学 (技術者としての倫理)						卒業研究関連科目 (DP7) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ	
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 RCUキャリアデザイン入門 プレジャースミナ → プレジャースプロジェクト インターンシップ							
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語 (R) (L) (O) (W)		(英語選択科目)				電気電子技術英語	

理工学科 (電気学系) 電気・電子コース

電気・電子・情報工学に基づく技術は、絶え間ない革新を続けながら、現代社会をより安全・安心で豊かなものにするためにきわめて大きい役割を果たしている。また、それらの技術は、きわめて広範にかつ学際的に発展し続けており、なかでも、情報計測学とヒトに密接に関連する心理学、解剖生理学などを統合した人間情報計測学は、健康・スポーツ科学と融合することで、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で大きな役割を果たしている。

電気学系は、環境にやさしいエネルギーの創成、新しい電子素子や発光素子の省エネ化・小型化・低コスト化を実現する技術を研究・開発をするための専門知識を修得した人材、ならびに健康・スポーツ科学と人間情報計測学に関する専門知識を修得した人材を育成する。さらに、実験実習を通じて関連する知識・技術を肌で体験することで、実践力、問題解決能力を身につけた、豊かな社会の構築に寄与できる人材を育成することを教育目標とする。

《コース編成・教育課程編成上の特色》

電気学系は、電気・電子コースと健康・スポーツ計測コースで編成され、系統的な専門基礎知識の修得と、その総合による論理的思考力、応用力、問題解決能力の育成に重点を置いた教育課程を編成する。

電気・電子コースは、電気電子工学の根幹である「電磁気学」「回路理論」「ソフトウェア工学」「電気電子情報基礎実験」「電気電子情報実験」「電気電子情報応用実験」を必修科目及び選択必修科目(22単位)とするとともに、電気分野に関する学系専門科目として「電力発生工学」「送配電工学」「パワーエレクトロニクス」「電気機器学」「スマートカーエレクトロニクス」などを、電子分野に関する学系専門科目として「電気・光電気化学」「電子工学」「量子エレクトロニクス」「電気・電子物性」「電気・電子材料」などを体系的に設置する。電気分野では、クリーンエネルギーの創成とスマートグリッド技術で支える新しい電力網、電子分野では、ナノテクノロジーを駆使した最先端な電子材料に教育の主眼を置く。

理工学科（電気学系）健康・スポーツ計測コース カリキュラムマップ 2017年度以降入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 健康科学・身体計測・スポーツ文化の発展に寄与するためのエッセンスを学びます。</p> <p>〈生理・生体〉(DP2) 解剖生理学Ⅰ → 解剖生理学Ⅱ → 運動生理学 → 生体工学 → 生体データ解析</p> <p>医用工学Ⅰ → 医用工学Ⅱ</p> <p>コーチング科学</p> <p>〈計測・信号・制御〉(DP2) 電気・電子計測Ⅰ → 電気・電子計測Ⅱ → システム制御Ⅰ → システム制御Ⅱ → 信号処理Ⅰ → 信号処理Ⅱ</p> <p>回路 (DP2) 健康科学技術基礎論Ⅰ → 健康科学技術基礎論Ⅱ → 電子回路 → インテリジェントシステム → 制御工学 → 画像処理工学</p> <p>情報 (DP2) 情報基礎及び演習Ⅰ → 情報基礎及び演習Ⅱ → 基本情報処理 → 基本情報処理演習 → ネットワークアーキテクチャ → 情報システム</p> <p>情報概論 → 論理回路 → 計算機構成論 → 情報工学 → システム工学</p> <p>ロボティクス概論</p> <p>〈実技・実験・実習〉(DP11) 健康スポーツ科学実技Ⅰ → 健康スポーツ科学実技Ⅱ → 人間情報計測実習Ⅰ → 人間情報計測実習Ⅱ → 健康・スポーツ計測学実験Ⅰ → 健康・スポーツ計測学実験Ⅱ</p>							
<p>専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。</p> <p>理工学概論</p> <p>理工学数学A</p> <p>工学基礎実験Ⅰ</p> <p>理工学数学B</p> <p>工学基礎実験Ⅱ</p> <p>(物理、化学科目等)</p>						<p>卒業研究関連科目 (DP4) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。</p> <p>卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ</p>	
<p>共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。</p> <p>キリスト教学</p> <p>KGUかながわ学</p> <p>(経済学、憲法等)</p>							
<p>社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。</p> <p>KGUキャリアデザイン入門</p> <p>フレッシュアースセミナー</p> <p>フレッシュアースプロジェクト</p> <p>インターンシップ</p>							
<p>英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。</p> <p>総合英語 (R) (L) (O) (W)</p> <p>(英語選択科目)</p>						電気電子技術英語	

 必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目 / 専門基礎科目

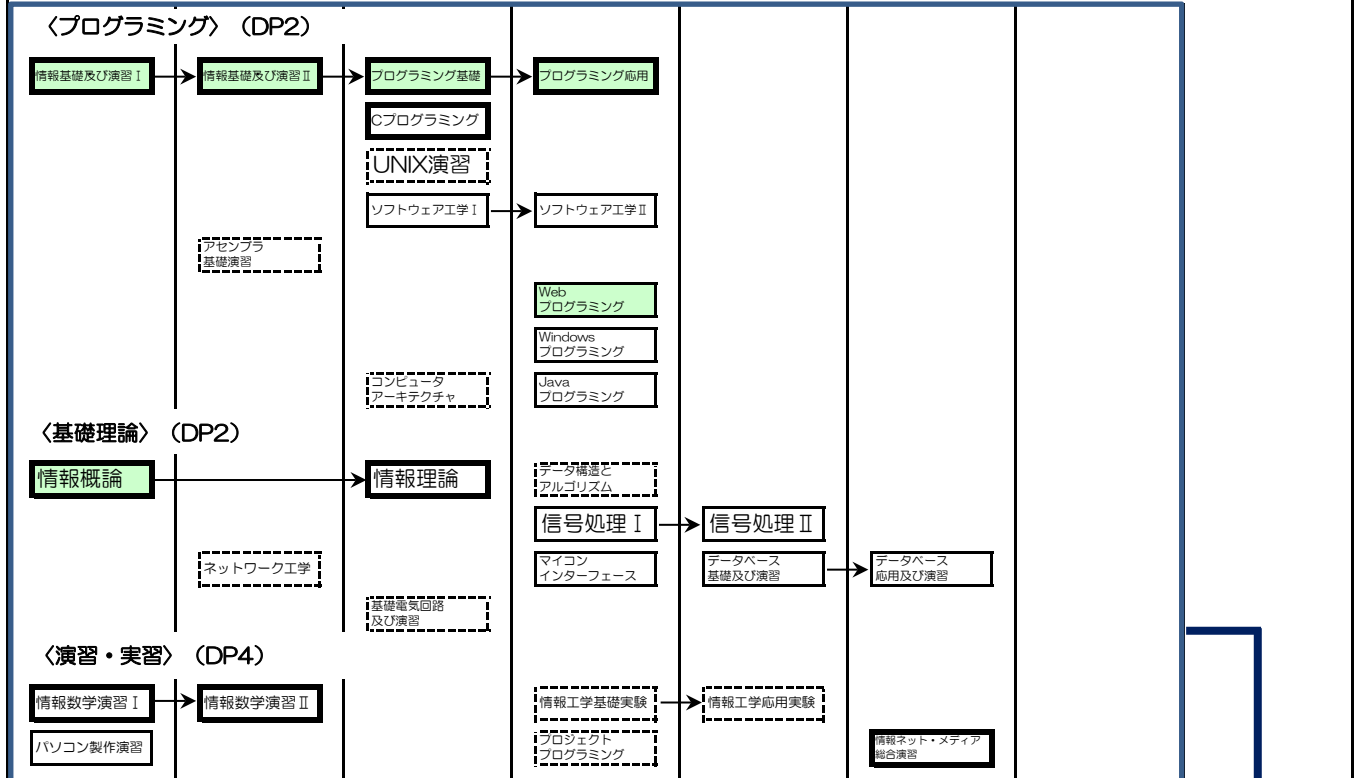
理工学科（電気学系）健康・スポーツ計測コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 健康科学・身体計測・スポーツ文化の発展に寄与するためのエッセンスを学びます。</p>							
<p>〈生理・生体〉 (DP2)</p> <p>解剖生理学Ⅰ → 解剖生理学Ⅱ → 運動生理学 → 生体工学 → 生体データ解析</p> <p>医用工学Ⅰ → 医用工学Ⅱ</p> <p>コーチング科学</p>							
<p>〈計測・信号・制御〉 (DP2)</p> <p>電気・電子計測Ⅰ → 電気・電子計測Ⅱ → システム制御Ⅰ → システム制御Ⅱ → 信号処理Ⅰ → 信号処理Ⅱ</p> <p>健康科学技術基礎論Ⅰ → 健康科学技術基礎論Ⅱ → 電子回路 → 電気電子総合演習</p> <p>基本情報処理 → 基本情報処理演習</p> <p>プログラミング基礎 → プログラミング応用</p> <p>生体計測プログラミングⅠ → 生体計測プログラミングⅡ</p> <p>ネットワークアーキテクチャ → ネットワークアーキテクチャ → 情報システム</p> <p>制御工学 → 制御工学 → システム制御Ⅱ → システム工学</p> <p>画像処理工学 → 画像処理工学</p> <p>現代制御理論 → 現代制御理論</p> <p>医用画像工学 → 医用画像工学</p>							
<p>〈回路〉 (DP2)</p> <p>健康科学技術基礎論Ⅰ → 健康科学技術基礎論Ⅱ → 電子回路 → 電気電子総合演習</p>							
<p>〈情報〉 (DP2)</p> <p>情報基礎及び演習Ⅰ → 情報基礎及び演習Ⅱ → プログラミング基礎 → プログラミング応用</p> <p>生体計測プログラミングⅠ → 生体計測プログラミングⅡ</p> <p>情報概論 → 論理回路 → 計算機構成論 → ネットワークアーキテクチャ → 情報システム</p> <p>情報工学 → システム工学</p> <p>ロボティクス概論</p>							
<p>〈実技・実験・実習〉 (DP11)</p> <p>健康スポーツ科学実技Ⅰ → 健康スポーツ科学実技Ⅱ → 人間情報計測実習Ⅰ → 人間情報計測実習Ⅱ → 健康・スポーツ計測学実験Ⅰ → 健康・スポーツ計測学実験Ⅱ</p>							
<p>専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。</p> <p>理工学概論</p> <p>理工学数学A</p> <p>工学基礎実験Ⅰ</p> <p>理工学数学B</p> <p>工学基礎実験Ⅱ</p> <p>(物理、化学科目等)</p>						<p>卒業研究関連科目 (DP4) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。</p> <p>卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ</p>	
<p>共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。</p> <p>キリスト教学</p> <p>キリスト教学(技術者としての倫理)</p> <p>(経済学、憲法等)</p>							
<p>社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。</p> <p>KOUキャリアデザイン入門</p> <p>プレジャーズセミナー</p> <p>プレジャーズプロジェクト</p> <p>インターンシップ</p>							
<p>英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。</p> <p>総合英語 (R) (L) (O) (W)</p> <p>(英語選択科目)</p>						<p>電気電子技術英語</p>	

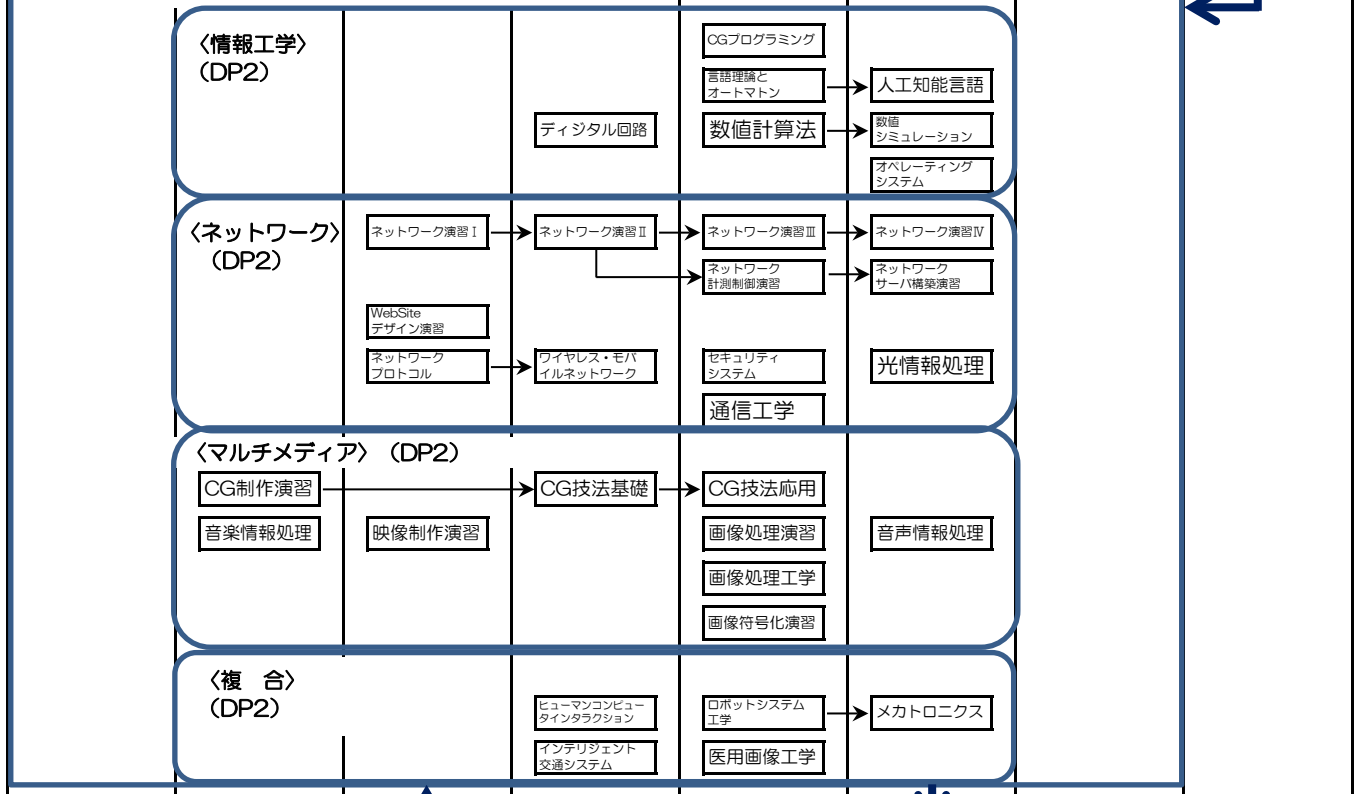
 必修科目
 登録必須科目
 共通科目
 専門基幹科目 / 専門基礎科目

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期

コース基幹科目 情報エンジニアとして必要な知識・技術を、講義・実験・演習を通して学びます。



コース発展科目 基幹科目での学習の幅を広げます。



必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目 / 専門基礎科目

1・2 Semester		3・4 Semester		5・6 Semester		7・8 Semester	
Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn	Spring	Autumn
専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。 理工学概論 工学基礎実験Ⅰ 工学基礎実験Ⅱ (数学、物理科目等)							
共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。 キリスト教学 キリスト教学(技術者としての倫理) (経済学、憲法等)							
社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。 CGキャリアデザイン入門 プレジャースミナ プレジャースプロジェクト インターンシップ (英)情報キャリアサポート演習Ⅰ 情報キャリアサポート							
英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。 総合英語(R)(L)(O)(W) 情報ネット・メディア技術英語							
				卒業研究関連科目(DP11) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。 情報ネット・メディア工学研究基礎 卒業研究基礎 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			

理工学科(情報学系) 情報ネット・メディアコース

情報学系は、IT(情報技術)の専門性と応用を磨き、現在と将来の情報環境に対応した取り組みのできる創造力豊かな情報エンジニアや技術的能力と創造性を併せ持った映像クリエイターにそれぞれなるための科学的思考力、技術的実践力を修得する。

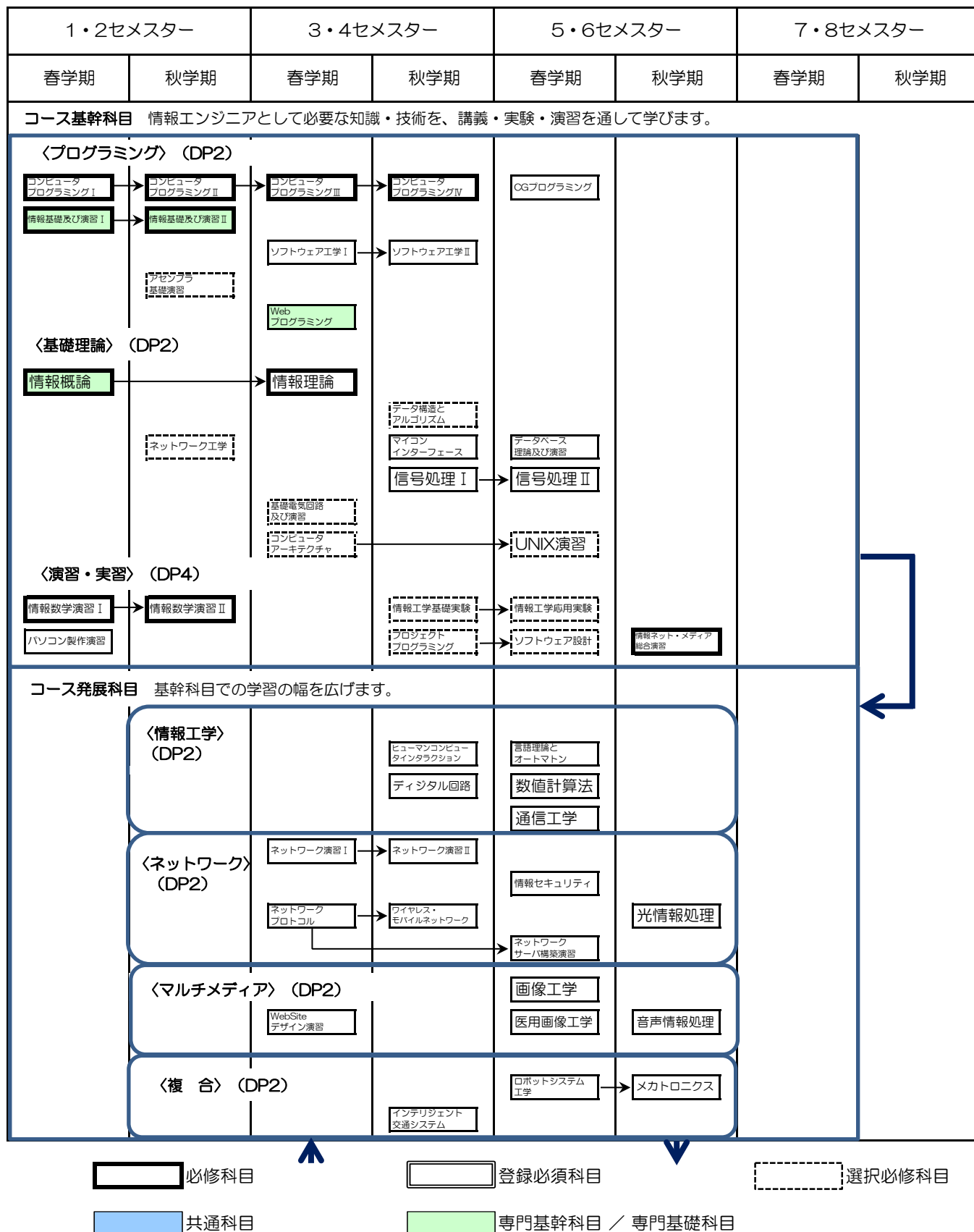
《コース編成・教育課程編成上の特色》

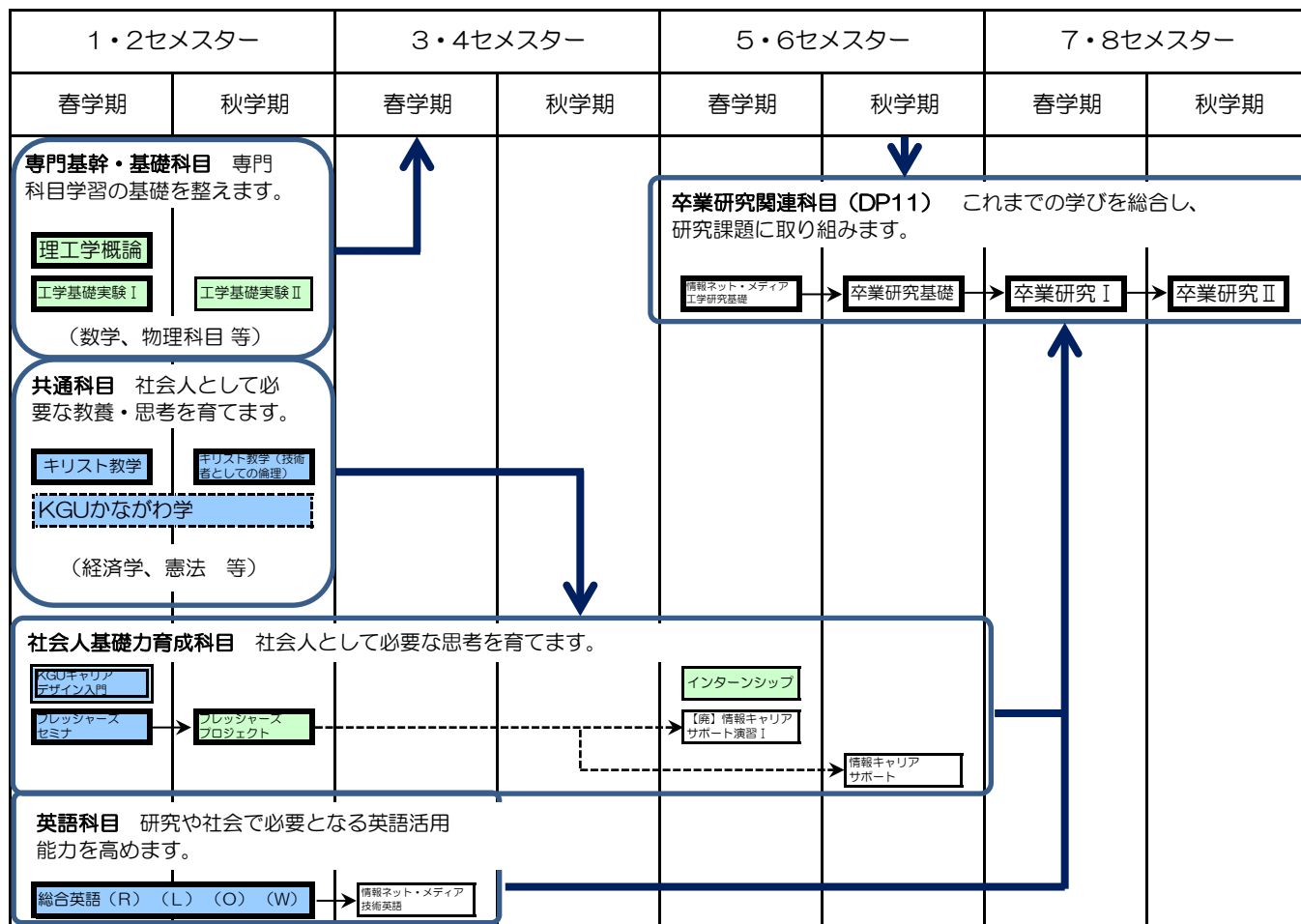
情報学系では、「創造力豊かな情報エンジニア」と「技術的能力と創造性を併せ持った映像クリエイター」を輩出するために、「情報ネット・メディアコース」と「映像クリエーションコース」の2つのコースを設ける。

情報ネット・メディアコースでは、コース基幹科目として情報工学の理論的な根幹である「情報数学演習Ⅰ・Ⅱ」「情報理論」とそれらを実践する際の根幹となるプログラミング能力や知識を身につける「Cプログラミング」「情報ネット・メディア総合演習」「情報ネット・メディア工学研究基礎」を必修科目とするとともに、「ソフトウェア工学Ⅰ・Ⅱ」「信号処理Ⅰ・Ⅱ」「マイコンインターフェース」などの選択科目と「情報工学基礎実験」「情報工学応用実験」「プロジェクトプログラミング」などの演習・実習科目で情報工学の基礎を学ぶ。さらにコース発展科目として、「情報工学」、「ネットワーク」、「マルチメディア」の3分野とそれらの応用に関する学系専門科目を体系的に設置する。

「情報工学」分野では、「デジタル回路」「数値計算法」「CGプログラミング」などで、情報処理の流れを設計し、コンピュータに命令するためのプログラミング言語や数値処理・数式処理を学修する。「ネットワーク」分野では、「プロトコル論」「セキュリティシステム」「ネットワークサーバ構築演習」などで、ネットワークでデータを交換するための手順や手続き、各種のネットワーク構成、安全性を確保するための手段、情報をインターネットに発信する方法などを学修する。「マルチメディア」分野では、「画像処理工学」「音声情報処理」「CG制作演習」などで、音・音声、画像・映像で表現されたマルチメディア情報についての処理や表現手段・方法を学修する。

理工学科（情報学系）情報ネット・メディアコース カリキュラムマップ 2017年度以降入学生用





理工学科(情報学系) 情報ネット・メディアコース

情報学系は、IT(情報技術)の専門性と応用を磨き、現在と将来の情報環境に対応した取り組みのできる創造力豊かな情報エンジニアになるための科学的思考力、技術的実践力を修得する。

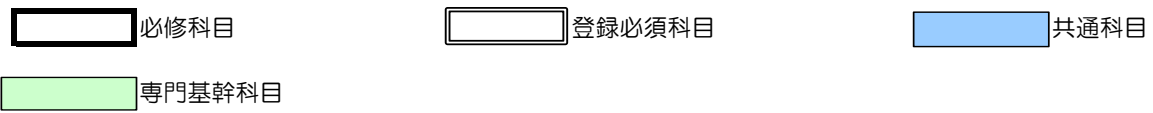
《コース編成・教育課程編成上の特色》

情報学系では、「創造力豊かな情報エンジニア」を輩出するために、「情報ネット・メディアコース」を設ける。情報ネット・メディアコースでは、コース基幹科目として情報工学の理論的な根幹である「情報数学演習Ⅰ・Ⅱ」「情報理論」とそれらを実践する際の根幹となるプログラミング能力や知識を身につける「コンピュータプログラミングⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「情報ネット・メディア総合演習」「情報ネット・メディア工学研究基礎」を必修科目とするとともに、「ソフトウェア工学Ⅰ・Ⅱ」「信号処理Ⅰ・Ⅱ」「マイコンインターフェース」などの選択科目と「情報工学基礎実験」「情報工学応用実験」「プロジェクトマネジメント演習」「ソフトウェア設計」などの演習・実習科目で情報工学の基礎を学ぶ。さらにコース発展科目として、「情報工学」、「ネットワーク」、「マルチメディア」の3分野とそれらの応用に関する学系専門科目を体系的に設置する。

「情報工学」分野では、「デジタル回路」「数値計算法」などで、情報処理の流れを設計し、コンピュータに命令するためのプログラミング言語や数値処理・数式処理を学修する。「ネットワーク」分野では、「ネットワークプロトコル」「情報セキュリティ」「ネットワークサーバ構築演習」などで、ネットワークでデータを交換するための手順や手続き、各種のネットワーク構成、安全性を確保するための手段、情報をインターネットに発信する方法などを学修する。「マルチメディア」分野では、「音声情報処理」「画像工学」「医用画像工学」で、音・音声、画像・映像で表現されたマルチメディア情報についての処理や表現手段・方法を学修する。

理工学科（情報学系）映像クリエーションコース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 デザインおよび映像・CG制作などの基盤となるスキルやコミュニケーション能力を身につけます。</p> <p>〈デザイン〉 (DP4)</p> <p>メディア表現基礎Ⅰ → メディア表現基礎Ⅱ → メディア表現応用Ⅰ → メディア表現応用Ⅱ → メディアワークショップ</p> <p>自己創造力 ヒューマンコミュニケーション演習 デザインスキル</p> <p>〈映像制作〉 (DP2)</p> <p>音楽理論 → 音響制作論 → デジタル作曲 → ショートムービーの制作 フォトエッセイ → フォトメディア → フォトテクニク → アニメーション制作演習 映像の構成と表現 → 物語と映像のデザイン → 映像の創作と表現 → クリエイティブ・トーク デジタル映像 → 映像社会交流 メディアプロデュース → 企画とシナリオ → プロフェッショナル映像</p> <p>〈CG制作〉 (DP2)</p> <p>3DCG制作演習Ⅰ → 3DCG制作演習Ⅱ → 3DCG制作演習Ⅲ → 3DCG制作演習Ⅳ リッチコンテンツ制作演習 VFX映像制作</p>							
<p>専門基幹・基礎科目 専門科目学習の基礎を整えます。</p> <p>理工学概論 情報概論 情報基礎及び演習Ⅰ → 情報基礎及び演習Ⅱ → プログラミング基礎 → プログラミング応用</p> <p>(数学、物理科目等)</p>							
<p>共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。</p> <p>キリスト教学 → キリスト教学(技術者としての倫理)</p> <p>(経済学、憲法等)</p>							
<p>社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。</p> <p>KGUキャリアデザイン入門 → プレッジャーズプロジェクト → インターンシップ → [第]情報キャリアサポート演習Ⅰ → 情報キャリアサポート</p>							
<p>英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。</p> <p>総合英語 (R) (L) (O) (W) → 情報ネット・メディア技術英語</p>							
						<p>卒業研究関連科目 (DP11) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。</p> <p>卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ</p>	



理工学科（土木学系）土木・都市防災コース カリキュラムマップ 2017年度以降入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 社会・人に貢献する土木技術者に必要な素養や基礎知識を、実践的な講義・演習・実験を通して学びます。</p> <p>建設工学基礎演習</p> <p>〈構造〉(DP2) 構造工学入門 → 構造の力学Ⅰ → 構造の力学Ⅱ</p> <p>〈地盤〉(DP2) 地盤工学入門 → 地盤工学Ⅰ → 地盤工学Ⅱ → 地盤工学Ⅲ</p> <p>〈水理〉(DP2) 水理学入門 → 水理学基礎演習 → 基礎水理学 → 応用水理学</p> <p>〈実験・実習〉(DP4) 製図概論・同演習 → CAD演習 → 測量学 → 測量実習</p> <p>土木工学総論</p> <p>土木工学基礎実験 → 都市防災実験</p> <p>土木工学総合演習Ⅰ → 土木工学総合演習Ⅱ</p>							
<p>コース発展科目 自分の興味・進路に合わせて知識を深めます。</p> <p>土木情報処理演習</p> <p>〈防災〉(DP2) 振動工学 → 耐風・風工学 → 都市防災学</p> <p>地盤防災工学 → 地震防災工学 → 防災施工学</p> <p>地震地盤工学 → 災害地形学 → 防災・都市水害</p> <p>自然地理学 → 応用地球物理学</p> <p>防災・海岸工学</p> <p>〈建設〉(DP2) 構造解析学 → 構造デザイン → 社会基盤の維持管理</p> <p>土木地質学・トンネル工学</p> <p>鉄道工学</p> <p>プロジェクトマネジメント → 地域・まちづくり論</p> <p>都市計画学 → 土木行政論</p> <p>〈環境〉(DP2) 水処理工学 → 環境設備工学</p> <p>環境工学 → 上水道工学 → 下水道工学</p>							
<p>専門基幹・基幹科目 専門科目学習の基礎を整えます。</p> <p>理工学概論</p> <p>理工学数学A</p> <p>情報基礎及び演習Ⅰ</p> <p>微分積分学Ⅰ</p> <p>環境地球科学Ⅰ</p> <p>(数学、物理科目等)</p>							
<p>共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。</p> <p>キリスト教学</p> <p>キリスト教学(技術者としての倫理)</p> <p>KGUかながわ学</p> <p>(経済学、憲法等)</p>							
<p>社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。</p> <p>KGUキャリアデザイン入門</p> <p>フレッシュアーズセミナー → フレッシュアーズプロジェクト</p> <p>インターンシップ</p> <p>フィールド調査実習</p> <p>国内土木施設研修</p> <p>実務測量実習</p> <p>土木行政実務研修</p> <p>土木学外実習Ⅰ → 土木学外実習Ⅱ</p>							
<p>英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。</p> <p>総合英語(R)(L)(O)(W)</p> <p>(英語選択科目)</p> <p>卒業研究関連科目(DP4) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。</p> <p>卒業研究基礎 → 卒業研究Ⅰ → 卒業研究Ⅱ</p>							

 必修科目
 登録必須科目
 選択必修科目
 共通科目
 専門基幹科目 / 専門基礎科目

理工学科（土木学系）土木・都市防災コース カリキュラムマップ 2013～2016年度入学生用

1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>コース基幹科目 社会・人に貢献する土木技術者に必要な素養や基礎知識を、実践的な講義・演習・実験を通して学びます。</p>							
<p>建設工学基礎演習</p> <p>〈構造〉 (DP2)</p> <p>〈地盤〉 (DP2)</p> <p>地盤工学入門</p> <p>〈水理〉 (DP2)</p> <p>〈実験・実習〉 (DP4)</p>	<p>構造工学入門</p> <p>地盤工学 I</p> <p>水理学入門</p> <p>製図概論・同演習</p>	<p>構造の力学 I</p> <p>材料工学</p> <p>地盤工学 II</p> <p>CAD演習</p> <p>測量学</p> <p>測量実習</p>	<p>構造の力学 II</p> <p>材料工学演習</p> <p>地盤工学 III</p> <p>基礎水理学</p> <p>土木工学基礎実験</p>	<p>土木工学総論</p> <p>コンクリート構造デザイン II</p> <p>応用水理学</p> <p>計画数理</p> <p>土木工学総合演習 I</p> <p>都市防災実験</p>	<p>土木工学総合演習 II</p>		
<p>コース発展科目 自分の興味・進路に合わせて知識を深めます。</p>							
<p>専門基幹・基幹科目 専門科目学習の基礎を整えます。</p> <p>理工学概論</p> <p>理工学教学A</p> <p>情報基礎及び演習 I</p> <p>微分積分学 I</p> <p>環境地球科学 I</p> <p>(数学、物理科目等)</p>		<p>土木情報処理演習</p> <p>〈防災〉 (DP2)</p> <p>振動工学</p> <p>地盤防災工学</p> <p>地震地盤工学</p> <p>自然地理学</p>		<p>耐風・風工学</p> <p>地震防災工学</p> <p>防災施工学</p> <p>災害地形学</p> <p>応用地球物理学</p> <p>防災・海岸工学</p>		<p>都市防災学</p> <p>防災・都市水害</p>	
<p>共通科目 社会人として必要な教養・思考を育てます。</p> <p>キリスト教学</p> <p>キリスト教学(技術者としての倫理)</p> <p>(経済学、憲法等)</p>		<p>〈建設〉 (DP2)</p> <p>構造解析学</p> <p>プロジェクトマネジメント</p> <p>都市計画学</p>		<p>構造デザイン</p> <p>社会基盤の維持管理</p> <p>土木地質学・トンネル工学</p> <p>鉄道工学</p> <p>地域・まちづくり論</p> <p>土木行政論</p>		<p>〈環境〉 (DP2)</p> <p>環境工学</p> <p>水処理工学</p> <p>上水道工学</p> <p>【廃】生命環境化学</p>	
<p>社会人基礎力育成科目 社会人として必要な思考を育てます。</p> <p>RGUキャリアデザイン入門</p> <p>フレッシュヤースセミナー</p> <p>フレッシュヤースプロジェクト</p>		<p>インターンシップ</p> <p>フィールド調査実習</p> <p>国内土木施設研修</p>		<p>実務測量実習</p> <p>土木行政実務研修</p> <p>土木学外実習 I</p>		<p>土木学外実習 II</p>	
<p>英語科目 研究や社会で必要となる英語活用能力を高めます。</p> <p>総合英語 (R) (L) (O) (W)</p> <p>(英語選択科目)</p>				<p>卒業研究関連科目 (DP4) これまでの学びを総合し、研究課題に取り組みます。</p> <p>卒業研究基礎</p> <p>卒業研究 I</p> <p>卒業研究 II</p>			

 必修科目
 登録必須科目
 共通科目
 専門基幹科目